

令和5年度

日々輝学園高等学校

Syllabus

シラバス



ホームページ <https://www.hibiki-gakuen.ed.jp>

本 校	〒329-2332	栃木県塩谷郡塩谷町大宮 2475-1	TEL:0287-41-3851	FAX:0287-41-3852
東京校	〒358-0011	埼玉県入間市下藤沢 1061-1	TEL:04-2965-9800	FAX:04-2965-9803
神奈川校	〒252-1104	神奈川県綾瀬市大上 4-20-27	TEL:0467-77-8288	FAX:0467-77-8121
横浜校	〒224-0041	神奈川県横浜市都筑区仲町台 1-10-18	TEL:045-945-3778	FAX:045-945-3771
さいたま キャンパス	〒330-0845	埼玉県さいたま市大宮区仲町 2-60 仲町川鍋ビル	TEL:048-650-0377	FAX:048-650-0383
宇都宮 キャンパス	〒320-0807	栃木県宇都宮市松が峰 1-1-14	TEL:028-614-3866	FAX:028-614-3867

目次

はじめに	2
カリキュラム表	3～4
表の見方	5
各教科のシラバス	
国語科	6～14
地理歴史科	15～20
数学科	21～22
理科	23～25
保健・体育科	26～30
芸術科	31～33
外国語科	34～41
家庭科	42
情報科	43～44
職業(専門)科目	45～52
学校設定科目	53～52
総合的な探究の時間	75～77
特別活動	78～80

はじめに

「シラバス」とは、学校教育活動に関する計画書を意味し、学習の目標、指導計画、評価方法等が記載されたものです。これは、学校が日頃の教育活動に関する情報を広く家庭や地域社会へ提示する、いわゆる「開かれた学校づくり」の一環となるものです。また、通信制高校では、家庭での自学自習も重要になりますので、予習復習にも必要になるものです。

一般的に言われる高等学校の学習の特徴としては、授業中の学習だけでは実力がつかないことが挙げられます。授業中には内容が理解できたように感じて、実際に自分で問題に取り組むと、さっぱり解けないことが多々あります。その原因は「復習」が足りないからです。授業後に自分で何度も復習し、また添削を受けたレポートを見直さないと、本当の自分の力にはならないのが高等学校の学習です。そのなかでも特に、「予習なくして授業なし」と言われるのが、英語と数学です。予習をしないで授業を受けても、よく理解できません。しかし、予習をやっておくと授業の内容が理解でき、さらに面白みも増してきます。

このことから、学習計画を立てるために役立てることができるように、また授業内容の理解を深めることができるように、このシラバスを作成しました。

ただし、次の点に注意してください。まず、これはあくまでも予定であるということです。この冊子は前年度のうちに作成しましたので、緊急事態や教科書の変更等により、変更があるかもしれません。それに伴って授業の内容に関しても変更がまったく無いとは言い切れません。その点を了解しておいてください。

それでは、この冊子を有効に活用し、実りある高校生活を送りましょう。

令和3年度入学生 カリキュラム表

校舎				東京・神奈川・横浜									さいたま						本校・宇都宮					
年次				1年次			2年次			3年次			1年次		2年次		3年次		1年次		2年次		3年次	
教科	科目名	標準 単位数	履修 区分	情報	アドバンス	福祉 保育	ST	情報 ビジネス	進学 アドバンス	進学β	ST SD	情報 ビジネス	進学	情報 ビジネス	進学	総合 ST 3Days	進学	総合 ST 3Days	進学					
国語	国語表現	3	○		2	2	2	2	2	2	2		2	2	2	2		2	2	2				
	国語総合	4	●	4								4				4								
	現代文B	4	○		2	2	2	2	2	2	2		2	2	2	2		2	2	2	2	2		
	古典A	4	○							2	2													
	古典B	4	○			2							2		2					2		2		
地歴	世界史A	2	○		2		2	2						2				2						
	世界史B	4	○			4							4						4					
	日本史A	2	○					2		2	2				2					2				
	日本史B	4	○						4						4							4		
	地理A	2	○																					
公民	現代社会	2	●	2								2				2								
数学	数学I	3	●		3	3	3	3					3	3		2	3	3						
	数学II	4	○						4						4							4		
理科	科学と人間生活	2	●	2								2				2								
	化学基礎	2	○		2	2	2	2					2	2			2	2						
	生物基礎	2	○						2						2							2		
保健 体育	体育	7	●	3	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2		
	保健	2	●	1	1	1	1	1				1	1	1		1	1	1						
芸術	音楽I	2	○		(2)		(2)	(2)																
	美術I	2	○		2		2	2					2				2							
	書道I	2	○	2								2				2								
外国語	C英語I	3	●	3								3				3								
	C英語II	4	○			4	2			2			4					4						
	C英語III	4	○						4						4							4		
	英語表現I	2	○			2							2					2						
	英語表現II	4	○						2						2							2		
英語会話	2	○		2		2	2	2	2	2		2		2		2		2			2			
家庭	家庭基礎	2	●	2								2				2								
情報	社会と情報	3	●	3								3				3								
普通科目の履修単位数の計				22	20	24	22	20	10	24	14	12	22	20	24	10	24	24	20	24	10	24		
商業	情報処理	2~4	○		2	2	2	2	2	2	2		2	2	2		2	2	2					
	ビジネス基礎	2	○						2	2	2				2						2			
	プログラミング	2	○												2									
家庭	子どもの発達と保育	2	○				2																	
	子ども文化	2	○						2															
情報	表現メディアの編集と表現	2	○		2								2					2						
	情報コンテンツ実習	2	○					2							2						2			
	アルゴリズムとプログラム	2~4	○		2			2					2		2			2			2			
福祉	社会福祉基礎	2	○																					
職業(専門)科目の履修単位数の計					6	2	4	2	8	4	6		6	2	8		6	2	8					
学校 設定 科目	漢字検定ゼミA~C	2		(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)													
	文学ゼミA~C	2		(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)													
	課題研究国語	2		(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)													
	国語演習	2							2	2	2			2								2		
	小論文ゼミ	2							(2)	(2)	(2)	(2)												
	ベーシック数学	2		2								2				2								
	数学ゼミ	2							2	2	2			2								2		
	数学演習ゼミA~C	2		(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)													
	自然科学ゼミ(化学)	2			(2)	(2)	(2)	(2)																
	自然科学ゼミ(生物)	2							(2)	(2)	(2)	(2)												
	創作ゼミA~C	2		(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)													
	アプリケーション演習A	2						2																
	アプリケーション演習B(検定ゼミ)	2																						
	アニメーションイラスト	2												(2)		2						2		
	社会福祉基礎講座	2																						
進路研究講座	2																				(2)			
学校設定科目の履修単位数の計				2			2	6	0	6	6	2		6							6			
総合的な探究の時間				3~6	●	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
履修単位数の合計					26	28	28	28	26	26	26	26	26	28	28	26	26	26	28	28	26	26		

令和4年度以降入学生 カリキュラム表

教科	年次			1年次	2年次				3年次			
	科目名	標準 単位数	履修 区分		情報	アドバンス	福祉 保育	ST	情報	アドバンス	福祉 保育	ST
国語	現代の国語	2	●	2								
	言語文化	2	●	2								
	論理国語	4	○			2				2		
	文学国語	4	○		2	2	2	2	2	2	2	2
	国語表現	4	○		2		2	2	2		2	2
	古典探究	4	○							4		
地歴	地理総合	2	●		2	2	2	2				
	地理探究	3										
	歴史総合	2	●	2								
	日本史探究	3	○							3	3	3
	世界史探究	3	○			3	3	3				
公民	公共	2	●		2	2	2	2				
数学	数学Ⅰ	3	●		3	3	3	3				
	数学Ⅱ	4	○							4		
理科	科学と人間生活	2	●	2								
	化学基礎	2	○		2	2	2	2				
	生物基礎	2	○							2		
保健 体育	体育	7	●	3	2	2	2	2	2	2	2	2
	保健	2	●	1	1	1	1	1				
芸術	美術Ⅰ	2	○		2		2	2				
	美術Ⅱ	2										
	美術Ⅲ	2										
	書道Ⅰ	2	○	2								
外国語	英語CⅠ	3	●	3								
	英語CⅡ	4	○		2	4	2	2	2		2	2
	英語CⅢ	4	○							4		
	論理・表現Ⅰ	2	○			2			2		2	2
	論理・表現Ⅱ	2	○							2		
	論理・表現Ⅲ	2	○									
家庭	家庭基礎	2	●	2								
情報	情報Ⅰ	2	●	3								
	情報Ⅱ	2	○		3							
普通科目の履修単位数の計				22	23	25	23	23	10	25	13	13
家庭	保育基礎	2	○				2				2	
情報	情報システムのプログラミング	2	○						3			
	コンテンツの制作と発信	2	○		2							2
	情報実習	2	○						2			
職業(専門)科目の履修単位数の計					2		2		5		2	2
学校 設定 科目	漢字検定ゼミA～C	2		(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
	課題研究国語	2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
	国語演習	2							2		2	2
	小論文ゼミ	2							(2)	(2)	(2)	(2)
	ベーシック数学	2		2								
	数学ゼミ	2							2		2	2
	数学演習ゼミA～C	2		(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
	自然科学ゼミ(化学)	2			(2)	(2)	(2)	(2)				
	自然科学ゼミ(生物)	2							(2)	(2)	(2)	(2)
	創作ゼミA～C	2		(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
	アプリケーション演習A	2						2				
	アプリケーション演習B(検定ゼミ)	2							2			
	アニメーションイラスト	2			(2)							
	情報演習A～C	2							2		2	2
	社会福祉基礎講座	2									2	2
	進路研究講座	2										
学校設定科目の履修単位数の計				2			2	8	0	8	8	
総合的な探究の時間		3～6	●	2	2	2	2	2	2	2	2	2
履修単位数の合計				26	27	27	27	27	25	27	25	25

【表の見方】

- 1、履修区分： 必履修・・・卒業までに必ず履修しなければならない科目
選択必履修・・・指定された科目の中から必ず履修しなければならない科目
標準履修・・・通常の時間割の中で履修していく科目
学校設定・・・本校で設定され、履修していく科目

- 2、指導回数： 面接→単位習得に必要な面接指導の時間数
試験→年間の定期試験回数
添削→単位習得に必要な添削指導(レポート)の枚数

☆宇都宮キャンパス、さいたまキャンパス、オンラインコースについては、面接指導日を別途指定します。

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
国語表現-2	標準履修	2	3	2	4	6			
ねらい 特色	・国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	・国語表現 改訂版(教育出版 国表 306) ・新総合図説国語 (東京書籍) ・常用漢字フォルダ(浜島書店)								
メディア活用	・NHK 高校講座(国語表現)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (※切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (※切)
4	◎学習ガイダンス 1.「人とつながる言葉」 ステップ2 待遇表現 敬語によるコミュニケーション		高校講座 第12回 ～ 第14回		10	5.「意見文」	2 【第4週】	第6回	
5	2.「面接」 ステップ1 自分を知る	1 【第4週】	第15回 第16回	① (5/19)	11	5.「意見文」			⑤ (11/10)
6	3.「言葉を届ける」 ステップ2 電話とメモ		第21回 第22回	② (6/9)	12	6.「作文」			⑥ (12/8)
7	3.ステップ2 電話とメモ			③ (7/7)	1	6.「作文」			
8	夏期休業中の課題 小論文				2	7.「実践演習」			
9	4.「小論文Ⅱ」 ステップ1 要約の方法		第26回 ～ 第28回	④ (9/15)	3				
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・年間3回の期末試験(30点以上合格) ・年間6回のレポート(3段階評価) ・ノート、課題提出、学習の振り返り、発表、意欲・関心・態度、その他、総合的に評価する。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
現代文 B-2	標準履修	2	3	2	4	6			
ねらい 特色	・国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	・新編現代文B(東京書籍 現 B321) ・新総合図説国語(東京書籍) ・常用漢字フォルダ(浜島書店)								
メディア活用	・NHK 高校講座(現代文)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)
4	◎学習ガイダンス 1.評論 1 時代をひらく 『最初のペンギン』				10	4.小説 1 『山月記』(後半)	2 【第4週】	第83回 第84回	
5	2.詩歌 イメージの世界 「信濃路【短歌】」	1 【第4週】	高校講座 第20回 ～ 第22回	① (5/19)	11	5.詩歌 心のうた 『永訣の朝』		第12回	⑤ (11/10)
6	2.詩歌 イメージの世界 「信濃路【短歌】」			② (6/9)	12	6.「近現代 文学地図」			⑥ (12/8)
7	3.小説 1 『山月記』(前半)		第77回 ～ 第79回	③ (7/7)	1	6.「近現代 文学地図」			
8	夏期休業中の課題 「短歌をつくる」				2	一年間のまとめ			
9	4.小説 1 『山月記』(後半)		第80回 ～ 第82回	④ (9/15)	3				
評価の方法	・年間4回の期末試験(30点以上合格) ・年間6回のレポート(3段階評価) ・ノート、課題提出、学習の振り返り、発表、意欲・関心・態度、その他、総合的に評価する。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数		
				面接	試験	添削
古典 A	標準履修	2	3	2	4	6

ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・古典文学を深く読み味わい、作品における時代背景や人生観等を理解する。 ・古文・漢文の語句の意味、語法を理解し、言語感覚を磨く。 ・歴史的仮名遣いや年中行事、暦法など基礎知識を学ぶ。
履修順序	・特になし
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・古典 A(東京書籍 古 A301) ・新総合図説国語(東京書籍)
メディア活用	・NHK 高校講座(古典)

学習計画

月	単元	面接指導	メディア	レポート (※切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート (※切)
4	◎学習ガイダンス 1.古文の学習 ・暦法、年中行事 ・歴史的仮名遣い		第 1 回		10	5.漢文『論語』 「直躬」	2 【第 4 週】	第 2 回	
5	2.『伊勢物語』 「月やあらぬ」(前半)	1 【第 4 週】	第 7 回 第 8 回	① (5/19)	11	5.漢文『論語』 「直躬」			⑤ (11/10)
6	2.『伊勢物語』 「月やあらぬ」(後半)			② (6/9)	12	6.古典文学史 上代～近世代			⑥ (12/8)
7	3『源氏物語』(入門)		第 59 回 ～ 第 61 回	③ (7/7)	1	6.古典文学史 上代～近世代			
8	夏期休業中の課題 .『源氏物語』		第 64 回		2	7.まとめの学習			
9	4.『源氏物語』 「初音」			④ (9/15)	3				

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・年間 3 回の期末試験(30 点以上合格) ・年間 6 回のレポート(3 段階評価) ・ノート、課題提出、学習の振り返り、発表、意欲・関心・態度、その他、総合的に評価する。
-------	---

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
古典 B-2	標準履修	2	3	2	4	6			
ねらい 特色	・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・新編古典B(東京書籍 古 B329) ・新総合図説国語(東京書籍) ・よくわかる 新選古典文法(東京書籍) 								
メディア活用	・NHK 高校講座(古典)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (≠切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (≠切)
4	◎学習ガイダンス 1.古文の学習 文法の復習				10	5.漢文 史記を読む「四面楚歌」	2 【第4週】	第48回	
5	2.『土佐日記』 「馬のはなむけ」	1 【第4週】		① (5/19)	11	6.『奥の細道』 「漂泊の思ひ」			⑤ (11/10)
6	3.『源氏物語』(入門)		第59回 ～ 第61回	② (6/9)	12	6.『奥の細道』 「漂泊の思ひ」			⑥ (12/8)
7	4.『源氏物語』「桐壺」		第62回 ～ 第64回	③ (7/7)	1	まとめ 古典文学史 文法演習問題			
8	夏期休業中の課題 古典文法のまとめ				2	一年間の振り返り			
9	5.漢文 史記を読む「四面楚歌」		第47回	④ (9/15)	3				
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・年間3回の期末試験(30点以上合格) ・年間6回のレポート(3段階評価) ・ノート、課題提出、学習の振り返り、発表、意欲・関心・態度、その他、総合的に評価する。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
現代の国語	必履修	2	1	2	5	6			
ねらい 特色	・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	・新編現代の国語(東京書籍 現国 701) ・新総合図説国語(東京書籍) ・すらら								
メディア活用	・NHK 高校講座(ベーシック国語)(国語総合)								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート(※切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート(※切)
4	◎学習ガイダンス 1.国語学習の基礎 「漢字の成り立ち」 「音読み・訓読み」 「熟語の構成、熟字訓」		【ベーシック国語】 第1回 第6回 第7回		10	4.『水の東西』	2 【第4週】		
5	1.国語学習の基礎 「四字熟語」「品詞を学ぶ」 2.自己を見つめる 『ルリボシカミキリの青』	1 【第4週】	【国語総合】 第5回 第6回	① (5/19)	11	5.社会と関わる(職業観) 『鍋洗いの日々』		【国語総合】 第57回 第58回	⑤ (11/10)
6	2.『ルリボシカミキリの青』 3.言葉と生活 「グラフの読みとり方」			② (6/2) ③ (6/16)	12	5.『鍋洗いの日々』			
7	3.「グラフの読みとり方」				1	6.未来に目を向ける 『真の自立とは』		【国語総合】 第81回 ～ 第83回	⑥ (1/26)
8	夏期休業中の課題 世界とつながる(随想) 『りんごのほっぺ』				2	6.『真の自立とは』			
9	4.他社に出会う(評論) 『水の東西』			④ (9/15)	3	◎1年間の総まとめ			
評価の観点	①【知識・技能】⇒定期試験、討論・発表 ②【思考・判断・表現】⇒レポート、討論・発表、学習の振り返り ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒レポート、討論・発表、授業の様子、学習の振り返り								
評価の方法	・年間5回の期末試験(30点以上合格) ・年間6回のレポート(3段階評価) ・ノート、課題提出、学習の振り返り、発表、意欲・関心・態度、その他、総合的に評価する。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
言語文化	必修	2	1	2	4	6			
ねらい 特色	・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	・新編言語文化(東京書籍 言文 701) ・新総合図説国語(東京書籍) ・常用漢字フォルダ(浜島書店)								
メディア活用	・NHK 高校講座(言語文化)(国語総合)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (※切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (※切)
4	◎学習ガイダンス 1.詩歌 命をうたう 「雪の深さを【俳句】」				10	4.『宇治拾遺物語』『児のそら寝』 5.物語 古人の生き方 『伊勢物語』『芥川』	2 【第4週】	【言語文化】 第52回	④ (10/20)
5	1.「雪の深さを【俳句】」 2.小説2 葛藤する心 『羅生門』	1 【第4週】	【国語総合】 第35回 第36回	① (5/19)	11	5.『伊勢物語』『芥川』 6.漢文入門 漢文に親しむ 「訓読の基本」 訓読		【言語文化】 第53回 第20回	
6	2.『羅生門』 3.言語活動 「歌詞の意味や表現技法について考えよう」		【国語総合】 第37回 第38回	② (6/9)	12	6.「訓読の基本」 格言、再読文字		【言語文化】 第21回	⑤ (12/8)
7	3.「歌詞の意味や表現技法について考えよう」			③ (7/7)	1	6.漢詩 漢詩を味わう 絶句と律詩『春暁』		【言語文化】 第35回	⑥ (1/26)
8	夏期休業中の課題 漢字学習「漢字フォルダ」				2	6.絶句と律詩『春暁』			
9	4.古文入門 古文の世界へ「古文に親しむ」 『宇治拾遺物語』『児のそら寝』		【言語文化】 第1回 ～ 第3回		3	◎1年間の総まとめ			
評価の観点	①【知識・技能】⇒定期試験、レポート、討論・発表 ②【思考・判断・表現】⇒定期試験、レポート、面接指導 ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒面接指導								
評価の方法	・年間3回の期末試験(30点以上合格) ・年間6回のレポート(3段階評価) ・ノート、課題提出、学習の振り返り、発表、意欲・関心・態度、その他、総合的に評価する。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
論理国語-1	標準履修	2	2	2	4	6			
ねらい 特色	・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	・新編論理国語(東京書籍 論国 701) ・新総合図説国語(東京書籍)								
メディア活用	・NHK 高校講座(ロンリのちから)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (≠切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (≠切)
4	◎学習ガイダンス 1.評論 広がる風景 『世界をつくり替えるために』		第1回		10	4.評論 ものの見方 『複数の「わたし」』	2 【第4週】	第11回 第12回	④ (10/20)
5	1.評論 広がる風景 『世界をつくり替えるために』	1 【第4週】	第2回 第3回	① (5/19)	11	5.働くよろこび 『楽に働くこと、楽しく働くこと』		第13回 第14回	
6	2.評論 人間と知性 『学ぶことと人間の知恵』		第4回 第5回 第6回	② (6/16)	12	5.働くよろこび 『楽に働くこと、楽しく働くこと』		第15回 第16回	⑤ (12/8)
7	3.評論 現実の中で 『安心について』 考える楽しみ①		第7回 第8回	③ (7/7)	1	6.論理の力 ・論理とは何か ・つなげる力		第17回 第18回	⑥ (1/26)
8	夏期休業中の課題 『少女たちの「ひろしま」』				2	6.論理の力 ・論証する力 ・要約する力		第19回 第20回	
9	4.評論 ものの見方 『複数の「わたし」』		第9回 第10回		3	6.論理の力 ・質問する力			
評価の観点	①【知識・技能】⇒定期試験、討論・発表 ②【思考・判断・表現】⇒レポート、討論・発表、学習の振り返り ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒レポート、討論・発表、授業の様子、学習の振り返り								
評価の方法	・年間3回の期末試験(30点以上合格) ・年間6回のレポート(3段階評価) ・ノート、課題提出、学習の振り返り、発表、意欲・関心・態度、その他、総合的に評価する。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
文学国語-1	標準履修	2	2	2	4	6			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、我が国の言語文化に理解を深めることができるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中での伝え合う力を深める。 ・言葉の価値への認識を深めるとともに、生涯に渡って読書に親しみ、自己を向上させ、社会に関わろうとする態度を養う。 								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・標準文学国語(第一学習社 文国 710) ・新総合図説国語(東京書籍) ・常用漢字フォルダ(浜島書店) 								
メディア活用	・NHK 高校講座(文学国語)(現代文)								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート(※切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート(※切)
4	◎学習ガイダンス 1.小説① 『デューク』		【現代文】 第7回		10	4.表現活動 『物語を創造する』	2 【第4週】	【文学国語】 第45回 第46回	④ (10/20)
5	1.小説① 『デューク』	1 【第4週】	【現代文】 第8回	① (5/19)	11	5.小説② 『鼻』		【文学国語】 第14回 ～ 第17回	
6	2.詩歌 『わたしが一番きれいだったとき』		【文学国語】 第31回	② (6/9)	12	5.小説② 『鼻』		【文学国語】 第18回 ～ 第20回	⑤ (12/8)
7	3.随想 『花のいざない』				1	6.日本文学史			⑥ (1/26)
8	夏期休業中の課題 『物語を創造する』				2	6.日本文学史			
9	3.随想 『花のいざない』		【文学国語】 第9回 第10回	③ (9/8)	3	一年間のまとめ			
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ①【知識・技能】⇒ 定期試験、レポート、討論・発表 ②【思考・判断・表現】⇒ 定期試験、レポート、面接指導(小テスト、課題作成) ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成) 								
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・年間4回の期末試験(30点以上合格) ・年間6回のレポート(3段階評価) ・ノート、課題提出、学習の振り返り、発表、意欲・関心・態度、その他、総合的に評価する。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
国語表現-1(新課程)	標準履修	2	2	2	3	6			
ねらい 特色	・国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	・国語表現(大修館書店 国表 701) ・新総合図説国語(東京書籍)								
メディア活用	・NHK 高校講座(国語表現)								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート(※切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート(※切)
4	◎学習ガイダンス 1.言葉と出会う レッスン1 言葉と表記 原稿用紙の使い方		第2回		10	3.小論文・レポート入門 レッスン1 小論文とは何か レッスン2 反論を想定して書く	2 【第4週】	第6回	④ (10/20)
5	レッスン2 整った文を書く	1 【第4週】	第3回	① (5/19)	11	レッスン5 発想を広げて書く		第7回	
6	レッスン3 相手に応じた言葉遣い		第4回	② (6/9)	12	4.自己PRと面接 レッスン1 自分を見つめて		第15回	⑤ (12/8)
7	相手に応じた言葉遣い		第13回	③ (7/7)	1	レッスン2 効果的な自己PR			⑥ (1/26)
8	夏期休業中課題 作文「夏休みの思い出」				2	レッスン3 将来の自分を考えよう			
9	レッスン4 わかりやすい文を書く		第5回		3	将来の自分を考えよう			
評価の観点	①【知識・技能】 ⇒ 定期試験、レポート、討論・発表 ②【思考・判断・表現】 ⇒ 定期試験、レポート、面接指導(小テスト、課題作成) ③【主体的に学習に取り組む態度】 ⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成)								
評価の方法	・年間3回の期末試験(30点以上合格) ・年間6回のレポート(3段階評価) ・ノート、課題提出、学習の振り返り、発表、意欲・関心・態度、その他、総合的に評価する。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
日本史 A	選択必修科目	2	3	2	4	6			
ねらい 特色	・我が国の近現代史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察することで、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	・日本史 A 現代からの歴史(東京書籍 日 A308) ・写真資料館 日本史のアーカイブ(東京法令出版)								
メディア活用	・NHK 高校講座(日本史)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)
4	序章 私たちの時代と歴史 1 私たちの歴史の結びつき 2 私たちの時代				10	2 政党政治の時代 3 軍国日本への道			④ (10/27)
5	第1章 近代日本の形成 1 国際情勢の変化と明治維新 2 明治新政府の諸改革		第28回 第29回 第30回	① (5/12)	11	4 太平洋戦争	2 【第2週】	第35回 第36回 第37回	⑤ (11/24)
6	3 立憲国家の成立 第2章 東アジア世界の変動と日本 1 日清戦争と近代社会の確立	1 【第2週】		② (6/9)	12	第4章 第二次世界大戦後の 国際社会と日本 1 近代世界の開幕と日本の 戦後改革		第38回 第39回	⑥ (12/14)
7	2 日露戦争と帝国日本の形成			③ (7/7)	1	2 高度経済成長の時代			⑥ (1/12)
8	夏期休業中の課題 日本史上の人物を調べてまとめる				2	第5章 現代の世界と日本 1 国際秩序のゆらぎと 経済大国日本		第40回	
9	第3章 二つの世界大戦と 日本 1 第一次世界大戦と帝国日本				3	2 冷戦の終焉と日本			
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験成績(小テストを含む)、レポート等の提出物、学習達成状況、出席・授業態度で評価を行う。 ・試験は1学期期末試験、2学期中間、期末試験、および単位認定試験を実施する。なお、試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。 ・教科に関する活動における顕著な成果、検定合格等を増単位として認める場合がある。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
日本史 B	選択必修科目	4	3	4	4	12			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史の展開を、諸資料にもとづき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。 ・各時代の特色と変遷の総合的考察を通じ、我が国の文化と伝統の特色について認識を深める。 ・歴史的思考力をつちかい、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。 								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・新選日本史 B (東京書籍 日 B310) ・日本史のアーカイブ (とうほう) 								
メディア活用	・NHK 高校講座(日本史)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (枚切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (枚切)
4	1章 古代国家の形成と貴族文化の誕生 1 旧石器時代と縄文時代 2 弥生時代				10	3 幕府政治の展開 4 幕藩体制の動揺 4章 近代国家の形成 1 開国から明治維新へ			⑥ (10/13) ⑦ (10/27)
5	3 古墳時代と飛鳥時代 律令国家の形成			① (5/12)	11	2 立憲政治の形成 3 日本の近代化 日清戦争と日露戦争	3 【第2週】		⑧ (11/10) ⑨ (11/24)
6	4 平安時代 貴族社会と摂関政治 2章 武家社会の形成と生活文化のめばえ 1 中世社会の成立	1 【第2週】			12	4 第一次世界大戦 5 昭和恐慌と中国侵略 日中戦争 太平洋戦争	4 【第2週】	第35回 第36回 第37回	⑩ (12/1) ⑪ (12/15)
7	鎌倉時代 執権政治 元寇と社会の変貌 2 室町時代 応仁の乱と戦国時代		第5回 第6回 第7回	③ (7/7) ④ (7/14)	1	5章 現代の世界と日本 1 終戦と占領と国内改革 冷戦の開始と経済復興			⑫ (1/12)
8	夏期休業中の課題 日本史上の人物を 調べてまとめる				2	2 高度経済成長 3 石油ショックと低成長 4 新しい国際秩序と日本の課題			
9	3章 近世社会の形成と庶民文化の展開 1 織豊政権による全国統一 2 江戸幕府の成立	2 【第2週】	第16回 第17回 第18回	⑤ (9/8)	3	1年間のまとめ			
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験成績(小テストを含む)、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数・授業態度で評価を行う。 ・試験は1学期期末試験、2学期中間試験、2学期期末試験、および単位認定試験を実施する。なお、試験の合格点は30点以上とする。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。 ・教科に関する活動における顕著な成果、検定合格等を増単位として認める場合がある。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
地理総合	必履修科目	2	2	2	3	6			
ねらい 特色	・社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。								
履修順序	・卒業までに必ず履修しなければいけない。								
教科書 副教材	・地理総合(帝国書院 地総 703) ・新鮮高等地図(帝国書院 地図 702)								
メディア活用	・NHK 高校講座(地理総合)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (枚切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (枚切)
4	第1章 地図と地理情報システム 1 節地球上の位置と時差 2 節地図の役割と種類 <学び直し> 地図の見方				10	経済成長による人々の生活 の変化 東アジア			④ (10/13)
5	第2章 結び付きを深める現代世界 1 節現代世界の国家と領域 2 節世界の地形と人々の生活		第1回 第2回 第3回	① (5/12)	11	地域統合が人々の生活や産 業に与える影響 ヨーロッパ	2 【第2週】		⑤ (11/10)
6	2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と理解 2 節世界の気候と人々の生活	1 【第2週】		② (6/9)	12	第2章 地球的課題と国際協 力 1 節複雑に絡み合う地球的課 題 6 節都市・居住問題			
7	1 節世界の言語・宗教と人々 の生活				1	3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 2 節地震・津波と防災 3 節火山災害と防災		第17回 第18回 第19回	
8	夏期休業中の課題 世界の国の事績を調べてまとめる				2	4 節気象災害と防災 5 節自然災害への備え			⑥ (2/2)
9	<学び直し> 日本の地理、 気候 5 節世界の産業と人々の生活 産業力が世界の生活文化に 与える影響 アメリカ合衆国			③ (9/8)	3	1 節 生活圏の調査と地域 の展望 1年間のまとめ			
評価の観点	①【知識・技能】⇒ 定期試験、レポート など ②【思考・判断・表現】⇒ 定期試験、レポート、面接指導(小テスト、課題作成)など ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成)など								
評価の方法	・年間3回の期末試験(30点以上合格) ・年間6回のレポート(3段階評価) ・ノート、課題提出、学習の振り返り、発表、意欲・関心・態度、その他、総合的に評価する。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
歴史総合	必修科目	2	2	2	4	6			
ねらい 特色	・近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けさせながら理解する。 ・現代の諸課題を歴史的観点から考察することにより、歴史的思考力を身につけ、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を身につける。								
履修順序	・卒業までに必ず履修しなければいけない								
教科書 副教材	・歴史総合(東京書籍 歴総 701) ・明解 歴史総合図説 シンフォニア最新版(帝国書院)								
メディア活用	・NHK 高校講座(歴史総合)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)
4	◎オリエンテーション 学び直し 第1章 歴史と私たち		第1回 第2回 第3回		10	2節 第一次世界大戦と 大衆社会(2) ・戦後の国際協調体制 ・1920年代のアメリカ	2 【第2週】		④ (10/27)
5	第2章 近代化と私たち 1節 近代化への問い 2節 結びつく世界と 日本の開国			① (5/19)	11	3節 経済危機と 第二次世界大戦		第11回 第12回 第13回	⑤ (11/24)
6	3節 国民国家と明治維新	1 【第2週】		② (6/9)	12	4節 国際秩序の変化や 大衆社会と現代的な諸課題 第4章 グローバル化と私たち			
7	4節 近代化と現代的な諸 課題 第3章 交際秩序の変化や 大衆化と私たち 1節 国際秩序の変化や 大衆化への問い			③ (7/7)	1	1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済			⑥ (1/19)
8	夏期休業中の課題 歴史上の人物、国、地域、 出来事などについて調べる				2	3節 世界秩序の変容と日本			
9	2節 第一次世界大戦と 大衆社会(1) ・第一次世界選手権				3	4節 現代的な諸課題の 形成と展望 ◎歴史探究の方法			
評価の観点	①【知識・技能】⇒ 定期試験、レポート、討論・発表、学習の振り返り、ノート ②【思考・判断・表現】⇒ 定期試験、レポート、討論・発表、学習の振り返り ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 史資料の読み取り、学習の振り返り								
評価の方法	・試験成績、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時数、授業態度で評価を行う。試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。 ・強化に関する活動における顕著な成果、検定合格などを増単位として認める場合がある。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
世界史探究	標準修科目	3	2	3	4	9			
ねらい 特色	・社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。								
履修順序	・歴史総合の後に履修しなければいけない								
教科書 副教材	・世界史探究(東京書籍 世探 701) ・明解 世界史図説 エスカリエ(帝国書院)								
メディア活用	・NHK 高校講座(世界史)								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート(×切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート(×切)
4	オリエンテーション 歴史総合の復習 第1章古代文明の出現				10	第14章国民国家と近代社会の形成 第15章世界市場の形成とアジア諸国の変容			⑦ (10/27)
5	第2章アジアと地中海周辺 第3章南アジア		第2回 第3回 第4回	① (5/19) ② (5/26)	11	第17章第一次世界大戦の展開と諸地域の変容	3 【第2週】		⑧ (11/24)
6	第5章東アジアと中央ユーラシア 第7章イスラーム世界の拡大と繁栄	1 【第2週】		③ (6/9) ④ (6/30)	12	第18章国際協調体制の動揺と第二次世界大戦		第31回 第32回 第33回	⑨ (12/15)
7	第8章中世ヨーロッパ 第9章中華世界の変容とモンゴル帝国			⑤ (7/7)	1	第20章冷戦の世界化と国際制度			
8	夏期休業中の課題 世界史上の人物を調べてまとめる				2	第20章冷戦の世界化と国際制度			
9	第11章大交易時代と世界の一体化 第13章主権国家体制の形成	2 【第2週】	第19回 第20回 第21回	⑥ (9/15)	3	一年間のまとめ			
評価の観点	①【知識・技能】⇒ 定期試験、レポート など ②【思考・判断・表現】⇒ 定期試験、レポート、面接指導(小テスト、課題作成)など ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成)など								
評価の方法	・年間4回の期末試験(30点以上合格) ・年間6回のレポート(3段階評価) ・ノート、課題提出、学習の振り返り、発表、意欲・関心・態度、その他、総合的に評価する。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
公共	必修	2	2	2	3	6			
ねらい 特色	・社会的見方・考え方を働かせ、現代の課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。								
履修順序	・卒業までに必ず履修しなければいけない								
教科書 副教材	・公共(東京書籍 公共 701)								
メディア活用	・NHK 高校講座(公共)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (枚切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (枚切)
4	第1部 公共のとびら 1 民主主義とは 2 立憲主義とは (学び直し)民主主義・国民主権				10	第3章 経済社会で生きる私たち		第9回 第10回 第11回	③ (10/6)
5	ゼミナール日本国憲法の基本原理 ①日本国憲法と三つの原理 ②基本的人権の保障			① (5/19)	11	第5章 国際社会のなかで生きる私たち 2 国際金融のしくみと動向	2 【第2週】		④ (11/10)
6	第2部 自立した主体として 社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち	1 【第2週】	第4回 第5回 第6回		12	1 国際社会のルールとしくみ			⑤ (12/8)
7	第2部 自立した主体として 社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち			② (7/7)	1	1 国際社会のルールとしくみ			
8	夏期休業中の課題 興味を持ったニュースを1つ 取り上げ調べ学習を行う。				2	第1部 公共の扉 第1章 公共的な空間を作る 私たち—社会のなかの自己			⑥ (2/2)
9	第3章 経済社会で生きる私たち				3	第1部 公共の扉 第1章 公共的な空間を作る 私たち—社会のなかの自己			
評価の観点	①【知識・技能】⇒ 定期試験、レポート、討論・発表、学習の振り返り、ノート ②【思考・判断・表現】⇒ 定期試験、レポート、討論・発表、学習の振り返り ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 史資料の読み取り、学習の振り返り								
評価の方法	・試験成績、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時数、授業態度で評価を行う。試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。 ・強化に関する活動における顕著な成果、検定合格などを増単位として認める場合がある。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
数学Ⅱ	標準履修	4	3	4	4	12			
ねらい 特色	・式と証明、図形と方程式、いろいろな関数及び微分積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。								
履修順序	・数学Ⅰを履修していること。								
教科書 副教材	・改訂 新数学Ⅱ(東京書籍 数Ⅱ319) ・ニューファースト 改訂 新数学Ⅱ(東京書籍 数Ⅱ319)								
メディア活用	・NHK 高校講座(数学Ⅱ)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (\times 切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (\times 切)
4	1章 方程式・式と証明 1節 分数式とその計算 2節 2次方程式		第5回 第6回 第7回	① (4/28)	10	5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数	3 【第4週】	第65回 第66回 第67回	⑦ (10/6) ⑧ (10/20)
5	3節 高次方程式 4節 式と証明	1 【第2週】	第12回 第13回 第14回	② (5/19)	11	2節 導関数の応用		第68回 第69回 第70回 第71回	⑨ (11/2) ⑩ (11/17)
6	2章 図形と方程式 1節 座標と直線の方程式 2節 円の方程式 3節 不等式の表す領域		第17回 ～ 第33回	③ (6/9) ④ (6/30)	12	3節 積分	4 【第2週】	第79回 第80回 第82回	⑪ (12/1) ⑫ (12/15)
7	3章 三角関数 1節 三角関数 2節 加法定理	2 【第2週】	第36回 第39回 第40回 第45回	⑤ (7/14)	1	【復習・課題学習】 1. 方程式・式と証明 2. 図形と方程式		第8回 第9回	
8	夏期休業中の課題 1学期の復習				2	3. 三角関数 4. 指数関数と対数関数 5. 微分と積分		第49回 第50回	
9	4章 指数関数と対数関数 1節 指数関数 2節 対数関数		第51回 第52回 第57回 第58回	⑥ (9/15)	3				
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験成績(小テストを含む)、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数、授業態度で評価を行う。 ・試験は1学期期末試験、2学期中間試験、2学期期末試験、単位認定試験を実施する。なお、試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
数学 I	必修	3	2	3	4	9			
ねらい 特色	・数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにする。								
履修順序	・ベーシック数学(学校設定科目)を履修していることが望ましい。								
教科書 副教材	・新数学 I (東京書籍 704) ・ニューファースト 改訂 新数学 I (東京書籍)または教科書演習ノート新数学 I (東京書籍)								
メディア活用	・NHK 高校講座(数学 I)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)
4	1章 数と式 2節 実数 1. 根号を含む式の計算 2. 数の分類 3節 方程式と不等式 6. 2次方程式とその解き方		第16回	① (4/28)	10	5. 三角比の相互関係 2節 三角比の応用 1. 三角形の面積 2. 正弦定理	3 【第4週】	第23回 第24回 第25回 第26回	⑥ (10/20)
5	2章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ 1. 関数 2. 2次関数とそのグラフ	1 【第2週】	第11回 第12回 第13回	② (5/19)	11	3. 余弦定理 4. 鈍角の三角比 5. 三角比の相互関係 6. 鈍角の三角比の利用		第27回 第28回	⑦ (11/17)
6	2節 2次関数の値の変化 1. 2次関数の最大値・最小値 1章 数と式 3節 方程式と不等式 5. 不等式の解き方		第14回	③ (6/2)	12	4章 データの分析 1節 データの分析 1. データにもとづいた問題 解決の進め方 2. データの特徴の調べ方		第32回 第33回	
7	2章 2次方程式 2節 2次関数の値の変化 2. 2次関数のグラフと2次方程式	2 【第2週】	第15回	④ (7/7)	1	3. 代表値 4. 四分位数と箱ひげ図		第34回	⑧ (1/19)
8	夏期休業中の課題		第19回		2	5. 分散と標準偏差 6. 相関関係 7. 相関係数		第35回	⑨ (2/2)
9	3章 三角比 1節 鋭角の三角比 1. 三角形 2. タンジェント 3. サインとコサイン 4. 三角比の利用		第22回	⑤ (9/22)	3	課題学習			
評価の観点	①【知識・技能】⇒ 定期試験、レポート、小テスト、発表 など ②【思考・判断・表現】⇒ 定期試験、レポート、面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成) など ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成) など								
評価の方法	・試験成績、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数、態度で評価を行う。試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。 ・教科に関する活動における顕著な成果、検定合格等を増単位として認める場合がある。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
生物基礎	選択必修	2	3	8	4	6			
ねらい 特色	・生物や生物現象に関する基本的な原理・法則を理解すると共に、多種多様な生物や生物現象を探究する方法を身に付ける。								
履修順序	・特にありませんが、「生物基礎」「化学基礎」の中から、卒業までに1科目以上必ず履修すること。								
教科書 副教材	・改訂新編生物基礎(東京書籍 生基312)								
メディア活用	・NHK 高校講座(生物基礎)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)
4	《学びなおし》(p.9) 1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性		第1回 第2回		10	2章 体内環境を保つしくみ	5 【第4週】	第21回 第22回 第23回 第24回	
5	2章 生命の活動とエネルギー	1 【第2週】	第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	① (5/12)	11	3章 体内環境を守るしくみ 4編 生物の多様性と生態系 1章 植生の多様性と遷移	6 【第2週】	第25回 第26回 第27回 第28回 第29回 第30回 第31回	⑤ (11/30)
6	《学びなおし》(p.37) 2編 遺伝子とその働き 1章 生物と遺伝子	2 【第2週】	第8回 第9回	② (6/9)	12	2章 バイオームとその分布	7 【第2週】	第32回 第33回 第34回	
7	2章 遺伝情報の分配	3 【第2週】	第10回 第11回 第12回 第13回	③ (7/7)	1	3章 生態系とその保全	8 【第2週】	第35回	⑥ (1/10)
8	夏期休業中の課題 生物に関する事象についての 研究				2	課題研究			
9	3章 遺伝情報とタンパク質の 合成 3編 生物の体内環境の維持 1章 体内環境の維持	4 【第3週】	第14回 第15回 第16回 第17回 第18回 第19回 第20回	④ (9/8)	3	課題研究			
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験成績、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数・授業態度で評価を行う。 ・試験は、1学期期末試験、2学期中間試験、2学期期末試験および単位認定試験を実施、試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。 ・教科に関する活動における顕著な成果、検定合格等を増単位として認める場合がある。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
科学と人間生活	必修	2	1	8	4	6			
ねらい 特色	<p>・自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、技能を身につける。</p> <p>・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</p>								
履修順序	・特にありませんが、「生物基礎」「化学基礎」の中から、卒業までに1科目以上必ず履修すること。								
教科書 副教材	・科学と人間生活(東京書籍 科人 701)								
メディア活用	・NHK 高校講座(科学と人間生活)								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート(※切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート(※切)
4	学び方の学習 序章 科学技術の発展 顕微鏡の使い方		第1回 第2回 第3回		10	3編1章 光や熱の科学 1節 光の性質 2節 光と色の見え方	5 【第4週】	第12回 第13回	④ (10/18)
5	1編2章 ヒトの生命現象 1節 ヒトの視覚と光による影響	1 【第2週】	第4回	① (5/12)	11	3編1章 光や熱の科学 2節 光と色の見え方 3節 光とその利用	6 【第4週】	第14回 第15回 第16回	⑤ (11/10)
6	1編2章 ヒトの生命現象 2節 血糖濃度を調節するしくみ	2 【第2週】	第5回 第6回	② (6/9)	12	4編2章 自然景観と自然災害 1編 身近な自然景観と自然災害	7 【第2週】	第17回 第18回 第19回	
7	2編2章 物質の科学 1節 衣料の科学	3 【第2週】	第7回 第8回 第10回		1	4編2章 自然景観と自然災害 2編 自然災害と防災	8 【第2週】	第20回	⑥ (1/19)
8	夏期休業中の課題:科学に関する事象についての研究 または 科学館見学レポート				2	課題研究			
9	2編2章 物質の科学 2節 食品の科学	4 【第3週】	第11回	③ (9/8)	3	課題研究			
評価の観点	<p>①【知識・技能】⇒ 定期試験、レポート、討論・発表 など</p> <p>②【思考・判断・表現】⇒ 定期試験、レポート、面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成) など</p> <p>③【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成) など</p>								
評価の方法	<p>・試験成績、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数、態度で評価を行う。試験の合格点は30点以上。</p> <p>・レポートの評価はA、B、Cの三段階とする。</p> <p>・教科に関する活動における顕著な成果、検定合格等を増単位として認める場合がある。</p>								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
化学基礎	選択必修	2	2	8	4	6			
ねらい 特色	・日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高めるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則、化学の果たす役割を理解し、科学的な見方や考え方を養う。								
履修順序	・特にありませんが、「生物基礎」「化学基礎」の中から、卒業までに1科目以上必ず履修すること。								
教科書 副教材	・改訂新編化学基礎（東京書籍 化基 702） ・改訂ニューレツトライノート化学基礎 Vol.2（東京書籍）								
メディア活用	・NHK 高校講座（化学基礎）								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート (\times 切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート (\times 切)
4	2章 物質の成分と構成元素 1節 物質の成分 2節 物質の構成元素 3節 物質の三態		第4回 第5回	① (4/28)	10	4節. 化学反応式とその量的関係 5節. 化学反応式の表す量的関係 2章 酸と塩基 1節. 酸と塩基	5 【第4週】	第22回 第23回 第24回 第25回 第26回	④ (10/11)
5	1章 原子の構造と元素の周期表 1節 原子の構造 2節 電子配置と周期表	1 【第4週】	第6回 第7回 第8回 第9回	② (5/26)	11	2節. 水素イオン濃度とpH 3節. 中和反応と塩 4節. 中和滴定	6 【第4週】	第27回 第28回 第29回 第30回 第31回 第32回	⑤ (11/10)
6	3章 化学結合 1節. イオンとイオン結合 2節. 分子と共有結合	2 【第3週】	第10回 第11回		12	3章 酸化還元反応 1節. 酸化と還元 2節. 酸化剤と還元剤	7 【第2週】	第33回 第34回 第35回	
7	2節. 分子と共有結合 3節. 金属と金属結合	3 【第2週】	第12回 第13回 第14回 第15回 第16回	③ (7/10)	1	3節. 金属の酸化還元反応 4節. 酸化還元反応の応用	8 【第2週】	第36回 第37回 第38回	⑥ (1/19)
8	夏期休業中の課題: ○分数、指数計算の演習プリント				2	課題研究			
9	3編 物質の変化 1章. 物質質量と化学反応式 1節. 原子量・分子量・式量 2節. 物質質量 3節. 溶液の濃度	4 【第3週】	第17回 第18回 第19回 第20回 第21回		3	課題研究			
評価の観点	①【知識・技能】⇒ 定期試験、レポート、討論・発表など ②【思考・判断・表現】⇒ 定期試験、レポート、面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成)など ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成)など								
評価の方法	・試験成績、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数、態度で評価を行う。試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とする。 ・教科に関する活動における顕著な成果、検定合格等を増単位として認める場合がある。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
体育-3	必修	2	3	10	1	2			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。 ・自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正・協力・責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。 								
履修順序	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業までに必ず履修しなければならない。卒業までの標準単位数は7単位。 ・3年間継続して履修する。(1年:3単位、2年:2単位、3年:2単位) 								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・現代高等保健体育改訂版(大修館書店 保体 304) ・ステップアップ高校スポーツ2021(大修館書店) 								
メディア活用	<ul style="list-style-type: none"> ・NHK 高校講座 (保健体育) ・NHK 高校講座 (探究する体育実技) 								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート (×切)
4	<オリエンテーション> ・体づくり運動(～3月) ・新体力テスト(～3月)	1 【第4週】			10	・体育理論 3日本のスポーツ振興	7 【第4週】	第3回 または 第4回	
5	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ、20mシャトルラン	2 【第4週】	第36回		11		8 【第2週】		
6	・体育理論 1生涯スポーツの見方・考え方 2ライフスタイルに応じたスポーツ	3 【第3週】	第37回	① (6/9)	12		9 【第2週】 10 【第3週】	第5回 または 第6回	② (12/8)
7	・陸上競技・球技・武道・ダンスの中から1つを実施(4～3月)	4 【第2週】	第38回		1	・体育理論 4スポーツと環境			
8	夏期休業中の課題 ラジオ体操を行い、生活リズムを整える。				2				
9	陸上競技(ハードル、三段跳び) 球技(サッカー、バレーボール、ソフトボール) 武道(柔道、剣道) ダンス(創作ダンス、現代的なリズムのダンス)(4～3月)	5 【第2週】 6 【第3週】	第1回 または 第2回		3				
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験成績、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数、授業態度で評価を行う。 ・試験は、各種目において授業中に行うものおよび、学年末に行う単位認定試験で実施。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。 ・学習達成状況は、各競技のルール、技術の知識理解や運動能力の習得について評価する。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
体育-1	必履修	3	1	15	1	3			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。 ・自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正・協力・責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。 								
履修順序	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業までに必ず履修しなければならない。卒業までの標準単位数は7単位。 ・3年間継続して履修する。(1年:3単位、2年:2単位、3年:2単位) 								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・大修館書店「現代高等保健体育改訂版」(保体 701) ・ステップアップ高校スポーツ2023(大修館書店) 								
メディア活用	<ul style="list-style-type: none"> ・NHK 高校講座 (保健体育) ・NHK 高校講座 (探究する体育実技) 								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート (<input type="checkbox"/> 切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート (<input type="checkbox"/> 切)
4	<オリエンテーション> ・体づくり運動(~3月) ・新体力テスト(~3月)	1 【第4週】			10	・体育理論 3. オリンピックとパラリンピックの意義 4. スポーツが経済に及ぼす効果	9、10 【第2週】 【第4週】	第14回	
5	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ、20mシャトルラン	2、3 【第2週】 【第3週】	第6回		11		11 【第2週】	第1回	② (11/2)
6	・体育理論 1. スポーツの始まりと変遷	4、5 【第3週】 【第5週】	第7回	① (6/9)	12		12 【第2週】		
7	2. 文化としてのスポーツ ・陸上競技・球技・武道・ダンスの中から1つを実施(4~3月)	6 【第2週】	第8回		1		13、14 【第3週】 【第4週】		
8	夏期休業中の課題 ラジオ体操を行い、生活リズムを整える。				2		15 【第2週】		③ (2/3)
9	陸上競技(短距離走、走幅跳び) 球技(サッカー、バレーボール、ソフトボール) 武道(柔道、剣道) ダンス(創作ダンス、現代的なリズムのダンス)(4~3月)	7、8 【第2週】 【第3週】	第13回		3	5. スポーツの高潔さとドーピング 6. スポーツと環境			
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ①【知識・技能】⇒ 実技、レポート、試験、発表 など ②【思考・判断・表現】⇒ 実技、レポート、面接指導(面接指導への取り組み) など ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、課題作成) など 								
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験成績、実技試験成績、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数、態度などで総合的に評価を行う。 ・試験は、各種目において面接指導中に行うものおよび、学年末に行う単位認定試験で実施する。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。 ・学習達成状況は、各競技のルール、技術の知識理解や運動能力の習得について評価する。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
体育-2	必履修	2	2	10	1	2			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。 ・自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正・協力・責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。 								
履修順序	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業までに必ず履修しなければならない。卒業までの標準単位数は7単位。 ・3年間継続して履修する。(1年:3単位、2年:2単位、3年:2単位) 								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・大修館書店「現代高等保健体育改訂版」(保体701) ・ステップアップ高校スポーツ2022(大修館書店) 								
メディア活用	<ul style="list-style-type: none"> ・NHK 高校講座 (保健体育) ・NHK 高校講座 (探究する体育実技) 								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート (×切)
4	<オリエンテーション> ・体づくり運動(～3月) ・新体力テスト(～3月)	1 【第4週】			10	・体育理論 3、技能の上達課程と練習 4、効果的な動きのメカニズム	6 【第4週】	第2回	
5	握力、上体起こし、長座体前屈 反復横跳び、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ、20mシャトルラン	2 【第4週】	第13回		11		7 【第3週】	第3回	② (11/2)
6	・体育理論 1、スポーツにおける技能と体力	3 【第3週】	第14回	① (6/9)	12		8 【第2週】		
7	2、スポーツにおける技術と戦術 ・陸上競技・球技・武道・ダンスの中から1つを実施(4～3月)	4 【第2週】	第20回		1		9 【第4週】		
8	夏期休業中の課題 ラジオ体操を行い、生活リズムを整える。				2	・体育理論 5、体カトレーニング 6、運動やスポーツでの安全の確保	10 【第2週】		③ (2/3)
9	陸上競技(長距離走、走高跳び) 球技(サッカー、バレーボール、ソフトボール) 武道(柔道、剣道) ダンス(創作ダンス、現代的なリズムのダンス)(4～3月)	5 【第3週】	第21回		3				
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ①【知識・技能】⇒ 実技、レポート、試験、発表 など ②【思考・判断・表現】⇒ 実技、レポート、面接指導(面接指導への取り組み) など ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、課題作成)など 								
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験成績、実技試験成績、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数、態度などで総合的に評価を行う。 ・試験は、各種目において面接指導中に行うものおよび、学年末に行う単位認定試験で実施する。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。 ・学習達成状況は、各競技のルール、技術の知識理解や運動能力の習得について評価する。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
保健-1	必履修	1	1	1	3	3			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していく為の資質・能力を育てる。 ・現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できるようになる。 ・安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現できるようになる。 								
履修順序	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業までに必ず履修しなければならない。卒業までの標準単位数は2単位。 ・2年間継続して履修する。(1年:1単位、2年:1単位) 								
教科書 副教材	・現代高等保健体育改訂版(大修館書店 保体 701)								
メディア活用	・NHK 高校講座(保健体育)								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート (枚切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート (枚切)
4	確認テスト 1 単元 現代社会と健康 1.健康の考え方と成り立ち 2.私たちの健康のすがた		第1回 第2回		10	6.運動と健康 7.食事と健康 8.休養・睡眠と健康 9.喫煙と健康		第8回 第9回 第10回	
5	18.健康に関する意思決定・行動選択 19.健康に関する環境づくり		第18回 第19回 第4回		11	10.飲酒と健康 11.薬物乱用と健康 15.現代の感染症		第11回 第15回	② (11/2)
6	2 単元 安全な社会生活 4.応急手当の意義とその基本 5.日常的な応急手当		第5回 第6回 第3回	① (6/9)	12	16.感染症の予防 17.性感染症・エイズとその予防		第16回 第17回	
7	6.心肺蘇生法 1 単元 現代社会と健康 3.生活習慣病の予防と回復		第4回 第5回		1	2 単元 安全な社会生活 1.事故の現状と発生要因		第1回 第2回	
8	夏期休業中課題 応急手当・心肺蘇生法を復習				2	2.安全な社会の形成 3.交通における安全		第3回	
9	4.がんの原因と予防 5.がんの治療と回復	1 【第2週】	第6回 第7回		3	確認テスト			
評価の観点	①【知識・技能】⇒ 定期試験、レポート、討論・発表 など ②【思考・判断・表現】⇒ 定期試験、レポート、面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成) など ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成)など								
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験成績、レポート等の提出物、面接指導内容(学習達成状況、態度など)で総合的に評価を行う。 ・試験は1学期期末試験、2学期期末試験、および単位認定試験を実施する。なお、試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
保健-2	必修	1	2	1	3	3			
ねらい 特色	<p>・保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していく為の資質・能力を育てる。</p> <p>・生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できるようになる。</p> <p>・健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断するとともに、それらを表現できるようになる。</p>								
履修順序	<p>・卒業までに必ず履修しなければならない。卒業までの標準単位数は2単位。</p> <p>・2年間継続して履修する。(1年:1単位、2年:1単位)</p>								
教科書 副教材	<p>・現代高等保健体育改訂版(大修館書店 保体 701)</p>								
メディア活用	<p>・NHK 高校講座(保健体育)</p>								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート (×切)
4	確認テスト 3単元 生涯を通じる健康 1、ライフステージと健康		第30回		10	9、労働災害と健康 10、健康的な職業生活 4単元 健康を支える環境づくり 1、大気汚染と健康 2、水質汚濁、土壌汚染と健康		第36回	
5	2、思春期と健康 3、性意識と性行動の選択		第31回		11	3、環境と健康にかかわる対策 4、ごみ処理と上下水道の整備 5、食品の安全性		第37回	② (11/2)
6	4、妊娠・結婚と健康 5、避妊法と人工妊娠中絶		第32回 第33回	① (6/9)	12	6、食品衛生にかかわる活動 7、保健サービスとその活用		第39回 第40回	
7	6、結婚生活と健康		第34回		1	8、医療サービスとその活用 9、医薬品の制度とその活用		第41回 第42回	
8	夏期休業中の課題 自分のライフデザインを考える				2	10、さまざまな保健活動や社会対策 11、健康に関する環境づくりと社会参加			③ (2/2)
9	3単元 生涯を通じる健康 7、中高年期と健康 8、働くことと健康	1 【第2週】	第35回		3	確認テスト			
評価の観点	<p>①【知識・技能】⇒定期試験、レポート、討論・発表 など</p> <p>②【思考・判断・表現】⇒定期試験、レポート、面接指導(取り組み、小テスト、課題作成) など</p> <p>③【主体的に学習に取り組む態度】⇒面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成)など</p>								
評価の方法	<p>・試験成績、レポート等の提出物、面接指導内容(学習達成状況、態度など)で総合的に評価を行う。</p> <p>・試験は1学期期末試験、2学期期末試験、単位認定試験を実施する。なお、試験の合格点は30点以上。</p> <p>・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。</p>								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
美術 I	選択必修	2	2	8	1	6			
ねらい 特色	・美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を養うとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	・高校生の美術 1(日本文教出版 美 I 702)								
メディア活用	・NHK 高校講座(美術 I)								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート(※切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート(※切)
4	オリエンテーション 鉛筆の扱い方		第 1 回		10	5. 身近なマーク(デザイン)	5 【第 1 週】	第 4 回 第 14 回 第 15 回	
5	1. デッサン(絵画)	1 【第 3 週】	第 5 回	① (5/19)	11	5. 身近なマーク(デザイン・続き)	6 【第 2 週】		⑤ (11/10)
6	2. 作品鑑賞(鑑賞) 3. 風景画(絵画)	2 【第 2 週】	第 2 回 第 3 回 第 7 回 第 18 回	② (6/2)	12	6. ねんどで表現(彫刻)	7 【第 2 週】	第 6 回 第 9 回	
7	3. 風景画(続き)	3 【第 2 週】		③ (7/14)	1	6. ねんどで表現(彫刻・続き)	8 【第 3 週】		
8	夏期課題: 写真を撮る				2	6. ねんどで表現(彫刻・続き)		第 12 回 第 19 回 第 20 回	⑥ (2/1)
9	4. 写真(映像メディア表現)	4 【第 2 週】	第 11 回	④ (9/22)	3	1年間のまとめ			
評価の観点	①【知識・技能】⇒ 課題作品、レポート など ②【思考・判断・表現】⇒ 課題作品、レポート、面接指導など ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、課題作成)、授業出席時間数など								
評価の方法	・年間6回のレポート、課題作品、作品完成に至るまでの制作課程、アイデアスケッチ、関心・意欲・態度など総合的に判断する。 ・レポートの評価は A、B、C の三段階とし、C は再提出となる。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
音楽 I	選択必修	2	2	8	1	6			
ねらい 特色	・音楽の基本的な知識や歌唱の技能を身につけ、創造的な表現や鑑賞の能力を伸ばす。 ・音楽活動を通して、音楽への興味や関心を持ち、音楽を愛好する心情を育て、芸術全般への関心を高める。								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	・音楽 I Tutti+ (教育出版 音 I 701)								
メディア活用	・NHK 高校講座(音楽 I)								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート (×切)
4	・オリエンテーション ・正しい発声方法 ・校歌の練習		第 1 回 第 2 回		10	・日本音楽史について ・雅楽の鑑賞と理解 ・ドイツ語の発声、歌唱方法 ・合唱の練習	5 【第 3 週】	第 26 回 第 28 回 第 32 回 第 34 回	③ (10/31)
5	・音符、休符、拍子の理解 ・歌唱の導入(四季の歌)	1 【第 2 週】	第 11 回		11	・西洋音楽史について ・ピアノの歴史について ・合唱練習の定着		第 7 回 第 8 回 第 15 回 第 17 回 第 30 回 第 38 回	④ (11/28)
6	・音部記号、五線、音階の導入 ・歌唱への姿勢、意欲の向上	2 【第 1 週】	第 19 回	① (6/27)	12	・世界の音楽について ・総合芸術における音楽の魅力について ・様々なジャンルの曲の歌唱	6 【第 2 週】		⑤ (12/12)
7	・リピータ記号、楽譜の読み方の理解 ・イタリア語の発音、歌唱方法	3 【第 2 週】	第 29 回		1	・演奏形態、声域の理解 ・ポピュラー音楽のルーツを学ぶ ・様々な音楽の鑑賞	7 【第 3 週】		⑥ (1/30)
8	・合唱の導入				2	・1年間の総復習 ・卒業式に向けた合唱練習	8 【第 2 週】		
9	・楽譜構成、楽譜の書き方、楽語への理解 ・鍵盤の配置について ・合唱の練習	4 【第 2 週】	第 23 回	② (9/26)	3	・1年間のまとめ ・音遊び(ボディーパーカッション)に挑戦 ・合唱の総仕上げ			
評価の観点	①【知識・技能】 ⇒ 作品、レポート、討論・発表 など ②【思考・判断・表現】 ⇒ 作品、レポート、面接指導(面接指導への取り組み) など ③【主体的に学習に取り組む態度】 ⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、課題作成) など								
評価の方法	・年間 1 回の期末試験(30 点以上合格)と年間 2 回の実技試験 ・出席状況や授業態度、課題提出などの普段の授業への取り組み状況 ・レポート作成状況(A、B、C の 3 段階とし、C は再提出となる)								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
書道 I	選択必修	2	1	8	1	6			
ねらい 特色	<p>・書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質、能力を育成する。</p> <p>・書のおさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品の書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉える。</p>								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	・書道 I (東京書籍 書 I 701)								
メディア活用	・NHK 高校講座(書道 I)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)
4	楷書の基本点画と執筆 法	1 【第3週】	第3回		10	漢字仮名交じりの書②	5 【第3週】		
5	楷書の学習①	2 【第3週】	第4回 第5回	① (5/30)	11	仮名の書①	6 【第4週】	第14回 第15回	④ (11/2)
6	楷書の学習②	3 【第2週】	第8回	② (6/27)	12	仮名の書②	7 【第2週】		⑤ (12/13)
7	行書の学習①		第9回 第10回	③ (7/12)	1	漢字仮名交じりの書③ ～創作～		第19回 第20回	
8	篆刻①				2	漢字仮名交じりの書④ ～創作～	8 【第2週】		⑥ (2/1)
9	篆刻② 漢字仮名交じりの書①	4 【第2週】	第11回 第18回		3	1年間のまとめ			
評価の観点	<p>①【知識・技能】 ⇒ 作品、レポート、討論・発表 など</p> <p>②【思考・判断・表現】 ⇒ 作品、レポート、面接指導(面接指導への取り組み) など</p> <p>③【主体的に学習に取り組む態度】 ⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、課題作成) など</p>								
評価の方法	<p>・年間 6 回のレポート(3 段階評価)、作品、課題提出、作品の鑑賞・発表、意欲・関心・態度、その他、総合的に評価する。</p> <p>・レポートの評価は A、B、C の三段階とし、C は再提出となる。</p>								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
コミュニケーション英語Ⅱ	標準履修	2	3 (福祉保育)	8	4	6			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。 ・聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。 ・話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。 ・言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。 								
履修順序	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション英語Ⅰを習得後の履修に限る。 ・2年生で2単位、3年生で2単位、合計4単位履修する。 								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・All Aboard! English CommunicationⅡ (東京書籍 コⅡ326) ・All Aboard! English CommunicationⅡ WORKBOOK (東京書籍) 								
メディア活用	・NHK 高校講座(コミュニケーション英語Ⅱ)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (<input type="checkbox"/> 切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (<input type="checkbox"/> 切)
4	Lesson6 A Microcosmo in the Sea	1 【第4週】	第42回 ～ 第46回	① (4/27)	10	Lesson 9 The Bitter Truth about Chocolate Lesson 10 Designing for Peace	6 【第2週】	第72回 第73回	④ (10/6)
5	Lesson 7 Happiness through Hula	2 【第4週】	第49回 ～ 第53回	② (5/19)	11	Lesson 10 Designing for Peace	7 【第2週】	第74回 第75回	⑤ (11/10)
6	Lesson 8 The Magic of the Cotswolds	3 【第3週】	第56回 ～ 第60回	③ (6/16)	12	Reading 2 Olivia	8 【第2週】		⑥ (12/8)
7	文法のまとめ 3	4 【第2週】			1	文法のまとめ 4			
8	夏期休業中の課題				2	1年間のまとめ			
9	Lesson 9 The Bitter Truth about Chocolate	5 【第2週】	第62回 ～ 第66回		3				
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の点数(30点以上で合格) ・出席状況や授業態度、課題提出などの普段の授業への取り組み状況 ・レポートの作成状況(A、B、Cの3段階とし、Cは再提出となる) これらを総合的に勘案して行う。また、教科に関する活動における顕著な成果、検定合格等を増単位として認める場合がある。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
コミュニケーション英語Ⅲ	標準履修	4	3	16	4	12			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。 聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。 話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。 言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。 								
履修順序	・2年次に「コミュニケーション英語Ⅱ」を修得してから、3年次に履修する。								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> All Aboard! English CommunicationⅢ (東京書籍 コⅢ325) All Aboard! English CommunicationⅢ WORKBOOK (東京書籍) 								
メディア活用	・NHK 高校講座(コミュニケーション英語Ⅲ)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)
4	Lesson1 Mystery Circles under the Sea	1 【第3週】 2 【第4週】	第1回 ～ 第3回		10	Lesson 8 The Journey of Our Clothes Extra Target 1 過去完了形	11 【第1週】 12 【第3週】	第28回 ～ 第31回	⑦ (10/2) ⑧ (10/30)
5	Lesson 2 Gifts to Barcelona Lesson 3 Images on Coins	3 【第2週】 4 【第4週】	第4回 ～ 第7回	① (5/8) ② (5/29)	11	Lesson 9 Challenges for the Future Lesson 10 The Story of Ruby Bridges	13 【第2週】 14 【第3週】	第32回 ～ 第41回	⑨ (11/6) ⑩ (11/27)
6	Lesson 4 Witnesses of War Lesson 5 Love Letters	5 【第2週】 6 【第3週】	第8回 ～ 第12回	③ (6/12) ④ (6/30)	12	Reading 2 Table for Two	15 【第1週】 16 【第2週】	第42回	⑪ (12/15)
7	Reading 1 The Fun They Had	7 【第2週】 8 【第3週】	第13回 ～ 第17回	⑤ (7/10)	1	Getting the Necessary Information オリンピック Extra Target 2 無生物主語			⑫ (1/10)
8	夏期休業中の課題				2				
9	Lesson 6 The Natural Treasures of Ogasawara Lesson 7 The Terracotta Warriors	9 【第2週】 10 【第3週】	第18回 ～ 第27回	⑥ (9/4)	3				
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験の点数(30点以上で合格) 出席状況や授業態度、課題提出などの普段の授業への取り組み状況 レポートの作成状況(A、B、Cの3段階とし、Cは再提出となる) これらを総合的に勘案して行う。また、教科に関する活動における顕著な成果、検定合格等を増単位として認める場合がある。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数		
				面接	試験	添削
英語表現Ⅱ	標準履修	2	3	8	4	6

ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。 ・聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。 ・話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。 ・言語運用の知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。
履修順序	・英語表現Ⅰを修得後の履修に限る。
教科書 副教材	・NEW FAVORITE English ExpressionⅡ(東京書籍 英Ⅱ317)
メディア活用	・NHK 高校講座(ベーシック英語)

学習計画

月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)
4	Lesson 1 School Uniforms	1 【第4週】	第1回 ～ 第4回		10	Lesson 7 Pets Lesson8 A Little Escape	6 【第2週】	第27回 ～ 第32回	④ (10/3)
5	Lesson 2 Online Addiction	2 【第4週】	第5回 ～ 第10回	① (5/16)	11	Lesson 9 Good Fortune Lesson 10 Barrier- Free Society	7 【第2週】	第33回 ～ 第36回	⑤ (11/14)
6	Lesson 3 Using the Internet Lesson 4 Specialization in Sports	3 【第3週】	第11回 ～ 第18回	② (6/8)	12	Lesson 11 Food Self-Sufficiency Lesson 12 Japanese Longevity	8 【第2週】	第37回 ～ 第40回	⑥ (12/12)
7	Lesson 5 Writing a Diary in English	4 【第2週】	第19回 ～ 第22回		1	1年間のまとめ・総復習			
8	夏期休業中の課題				2				
9	Lesson 6 My Future Career	5 【第2週】	第23回 ～ 第26回	③ (9/5)	3				

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験成績(小テストを含む)、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数・授業態度で評価を行う。 ・試験は1学期期末試験、2学期中間試験、2学期期末試験、および単位認定試験を実施する。なお、試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価は、A、B、C、の三段階とし、Cは再提出となる。 ・教科に関する活動における顕著な成果、検定合格を増単位として認める場合がある。
-------	---

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
英語会話-2	標準履修	2	3	8	4	6			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。 ・英語を通じて、身近な問題について会話することができる。 								
履修順序	・2年生で2単位、3年生で2単位、合計4単位履修する。								
教科書 副教材	・Hello there! English Conversation(東京書籍 英会301)								
メディア活用	・NHK 高校講座(ベーシック英語)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)
4	Lesson6 Are You All Right?	1 【第4週】	第1回 ～ 第4回		10	Lesson9 Equal Rules	6 【第3週】	第22回 ～ 第26回	④ (10/13)
5	Listen-Up 3 Lesson7 Talking about Our Town	2 【第4週】	第5回 ～ 第8回	① (5/19)	11	Lesson10 Helping Each Other	7 【第2週】	第27回 ～ 第30回	⑤ (11/10)
6	Lesson8 Traditional Culture Listen-Up 4	3 【第2週】	第9回 ～ 第12回	② (6/9)	12	Listen-Up 5		第31回 ～ 第33回	⑥ (12/14)
7	Sakura's Adventure Episode3	4 【第2週】	第13回 ～ 第16回		1	会話表現のまとめ I	8 【第2週】	第34回 ～ 第37回	
8	夏期休業中の課題		第17回		2	会話表現のまとめ II		第38回 ～ 第40回	
9	Sakura's Adventure Episode4	5 【第4週】	第18回 ～ 第21回	③ (9/8)	3				
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・英会話への関心・意欲・態度 ・英語理解の能力 ・英語表現の能力 ・言語や文化についての知識・理解 								
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験成績(小テストを含む)、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数・授業態度で評価を行う。 ・試験は1学期期末試験、2学期中間試験、2学期期末試験、および単位認定試験を実施する。なお、試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価は、A、B、C、の三段階とし、Cは再提出となる。 ・教科に関する活動における顕著な成果、検定合格を増単位として認める場合がある。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
英語コミュニケーション I	必修	3	1	12	5	9			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を読んだり、聞いて、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 ・基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話したり、書いて伝え合ったりすることができる。 								
履修順序	・卒業までに必ず履修しなければならない。								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・All Aboard! English Communication I (東京書籍 C I 701) ・すらら 								
メディア活用	・NHK 高校講座(英語コミュニケーション I)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (※切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (※切)
4	Warm-Up 1, 3 Pre-Lesson 1 My Name Is Ito Neko.	1 【第3週】		① (4/26)	10	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	8 【第2週】 9 【第4週】	第17回 第18回 第21回 第22回	⑤ (10/25)
5	Pre-Lesson 2 I Like Junk Food!	2 【第2週】 3 【第4週】	第2回 第3回	② (5/24)	11	Lesson 7 A Diary of Hope	10 【第2週】	第23回 ～ 第25回	⑥ (11/8)
6	Lesson 1 Breakfast around the World	4 【第3週】 5 【第5週】	第4回 第5回	③ (6/14)	12	文法のまとめ 1 文法のまとめ 2	11 【第2週】	第26回 第27回	⑦ (12/13)
7	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas Lesson 3 A train Driver in Sanriku	6 【第2週】	第6回 ～ 第9回	④ (7/12)	1	Lesson 8 A Door to a New Life Lesson 9 Fighting Plastic Pollution	12 【第3週】	第29回 ～ 第31回	⑧ (1/17)
8	すらら				2	Lesson 10 Pigs from across the Sea			⑨ (2/6)
9	Lesson 4 A Miracle Mirror Lesson 5 Learning from the Sea	7 【第3週】	第11回 ～ 第14回		3	文法のまとめ 3 文法のまとめ 4			
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ①【知識・技能】⇒ 定期試験、レポート、討論・発表 など ②【思考・判断・表現】⇒ 定期試験、レポート、面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成) など ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成) など 								
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験成績、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数、態度で評価を行う。 ・試験はプレ試験、1 学期期末試験、2 学期中間試験、2 学期期末試験および単位認定試験を実施する。合格点は30点以上。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。 ・教科に関する活動における顕著な成果、検定合格等を増単位として認める場合がある。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
英語コミュニケーションⅡ (アドバンスコース)	標準履修	4	2	16	4	12			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を読んだり、聞いたりして、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。 基本的な語句や文を用いて、情報を与え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話したり、書いて伝え合ったりすることができる。 								
履修順序	・1年次に、「英語コミュニケーションⅠ」を修得してから、2年時に履修する。								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> All Aboard! English CommunicationⅡ (東京書籍 CⅡ701) All Aboard! English CommunicationⅡ WORKBOOK (東京書籍) 								
メディア活用	・NHK 高校講座(英語コミュニケーションⅡ)								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート (※切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート (※切)
4	Lesson1 A Colorful Island	1 【第5週】	第1回 第2回 第3回	① (4/27)	10	Lesson 7 Over the Wall	9 【第2週】 10 【第4週】	第21回 ～ 第25回	⑦ (10/13)
5	Lesson 2 With the Beatles Lesson 3 Wild Men	2 【第2週】 3 【第4週】	第4回 ～ 第8回	② (5/15) ③ (5/29)	11	Lesson 8 Inspiration from Nature	11 【第2週】 12 【第4週】	第26回 ～ 第29回	⑧ (11/2)
6	Lesson 4 Little Hero	4 【第2週】 5 【第5週】	第9回 ～ 第12回	④ (6/16)	12	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate	13 【第1週】 14 【第2週】	第30回 ～ 第31回	⑨ (12/8)
7	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	6 【第2週】	第13回	⑤ (7/10)	1	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate Lesson 10 Fighting Angel	15 【第3週】	第32回 ～ 第35回	⑩ (1/15) ⑪ (1/22)
8	夏期休業中の課題		第14回 第15回 第16回		2	Lesson 10 Fighting Angel	16 【第2週】	第36回 第37回	⑫ (2/5)
9	Lesson 6 Seeds for Future Generations	7 【第2週】 8 【第3週】	第17回 ～ 第20回	⑥ (9/22)	3	1年間の総まとめ *文法を中心に復習		第38回 第39回	
評価の観点	①【知識・技能】⇒ 定期試験、レポート、発表 等 ②【思考・判断・表現】⇒ 定期試験、レポート、面接指導(面接指導への取り組み、小テスト) 等 ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、小テスト) 等								
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 試験成績、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数、態度で評価を行う。 試験の合格点は、30点以上 レポートの評価は、A、B、Cの3段階とし、Cは再提出となる。 教科に関する活動における顕著な成果、検定合格等を増単位として認める場合がある。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
英語コミュニケーションⅡ (情報、福祉・保育、ST)	標準履修	2	2	8	4	6			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を読んだり、聞いたりして、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。 基本的な語句や文を用いて、情報を与え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話したり、書いて伝え合ったりすることができる。 								
履修順序	・1年次に、「英語コミュニケーションⅠ」を修得してから、2年時に履修する。								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> All Aboard! English Communication Ⅱ (東京書籍 CⅡ701) All Aboard! English Communication Ⅱ WORKBOOK (東京書籍) 								
メディア活用	・NHK 高校講座(英語コミュニケーションⅡ)								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート (×切)
4	Lesson1 A Colorful Island	1 【第5週】	第1回 第2回 第3回	① (4/27)	10	Lesson 4 Little Hero	5 【第4週】	第15回 第16回	④ (10/6)
5	Lesson 2 With the Beatles	2 【第4週】	第4回 ～ 第7回	② (5/19)	11	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	6 【第2週】	第17回 第18回 第19回	⑤ (11/10)
6	Lesson 3 Wild Men	3 【第5週】	第8回 第9回 第10回	③ (6/16)	12	文法のまとめ 2		第20回 第21回	
7	文法のまとめ 1		第11回		1	Reading 1 Mujina	7 【第3週】 8 【第4週】	第22回 第23回 第36回	⑥ (1/26)
8	夏期休業中の課題				2	Reading 1 Mujina			
9	Lesson 4 Little Hero	4 【第3週】	第12回 第13回 第14回		3	1年間の総まとめ *文法を中心に復習			
評価の観点	①【知識・技能】⇒ 定期試験、レポート、発表 等 ②【思考・判断・表現】⇒ 定期試験、レポート、面接指導(面接指導への取り組み、小テスト) 等 ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、小テスト) 等								
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 試験成績、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数、態度で評価を行う。 試験の合格点は、30点以上。 レポートの評価は、A、B、Cの3段階とし、Cは再提出となる。 教科に関する活動における顕著な成果、検定合格等を増単位として認める場合がある。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
論理・表現 I	標準履修	2	2	8	3	6			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> 多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、 1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを、やり取りを通して伝え合うことができる。 2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、話して伝えることができる。 3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、書いて伝えることができる。 								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	・NEW FAVORITE English Logic and Expression I (東京書籍 論 I 701)								
メディア活用	・NHK 高校講座(ベーシック英語)								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート (※切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート (※切)
4	オリエンテーション 【Unit 1】 Lesson 1 初めての食事 Lesson 2 道に迷う	1 【第4週】	第1回 ～ 第4回		10	Lesson 11 家庭でのディスカッション Lesson 12 英字新聞に投稿	5 【第3週】	第26回 ～ 第30回	③ (10/5)
5	Lesson 3 人物紹介 Lesson 4 体調が悪い	2 【第2週】	第5回 ～ 第10回		11	【Unit 2】 Lesson 1 クラスでディベート① Lesson 2 クラスでディベート②	6 【第2週】	第31回 ～ 第35回	④ (11/10)
6	Lesson 5 買い物 Lesson 6 行ってみたい場所	3 【第3週】	第11回 ～ 第15回	① (6/8)	12	Lesson 3 経験談のスピーチ Lesson 4 遊びやスポーツを紹介		第36回 第37回	
7	Lesson 7 イベントに誘われる Lesson 8 スクールカウンセラーに相談		第16回 ～ 第20回	② (7/14)	1	Lesson 5 日本をPR Lesson 6 物語の両面を伝える	7 【第3週】	第38回 ～ 第40回	⑤ (1/15)
8	夏期休業中の課題				2	Lesson 7 読み手を納得させる Lesson 8 読み手を説得する	8 【第2週】		⑥ (2/5)
9	Lesson 9 お気に入りの紹介 Lesson 10 待ち合わせに遅刻	4 【第3週】	第21回 ～ 第25回		3	1年間のまとめ			
評価の観点	①【知識・技能】⇒ 定期試験、レポート、討論・発表 など ②【思考・判断・表現】⇒ 定期試験、レポート、面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成) など ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成) など								
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 試験成績、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数、態度で評価を行う。 試験は1学期期末試験、2学期期末試験および単位認定試験を実施する。合格点は30点以上。 レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。 教科に関する活動における顕著な成果、検定合格等を増単位として認める場合がある。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
家庭基礎	必修	2	1	4	3	4			
ねらい 特色	<p>・生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協同し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。</p> <p>・持続可能な社会をつくる暮らしの担い手として、必要な知識や体験を身につける。</p>								
履修順序	・卒業までに必ず履修しなければならない。								
教科書 副教材	・家庭基礎 自立・共生・創造(東京書籍)								
メディア活用	・NHK 高校講座(家庭総合)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)
4	オリエンテーション 第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる①		第1回 第2回		10	第6章 食生活をつくる ③④⑤⑥⑦	3 【第1週】	第29回	
5	第2章 人生をつくる②③ 第3章 子どもと共に育つ ①②	1 【第3週】	第3回 第9回		11	第7章 衣生活をつくる	4 【第2週】	第34回	③ (11/7)
6	第3章 子どもと共に育つ ③④⑤	2 【第2週】	第10回	① (6/9)	12	第9章 経済生活を営む ①②③			
7	第4章 超高齢社会を共に生きる		第13回		1	第9章 経済生活を営む④⑤ 第10章 持続可能な生活を営む		第21回	④ (1/26)
8	被服実習 生活の中での実践		第32回		2	第8章 住生活をつくる			
9	第5章 共に生き、共に支える 第6章 食生活をつくる①②		第23回	② (9/27)	3	第11章 これからの生活を想像する		第37回	
評価の観点	<p>①【知識・技能】⇒定期試験、レポート、討論・発表 など</p> <p>②【思考・判断・表現】⇒定期試験、レポート、面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成) など</p> <p>③【主体的に学習に取り組む態度】⇒面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成) など</p>								
評価の方法	<p>・試験成績、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数、態度で評価を行う。</p> <p>・試験は、1学期期末試験、2学期期末試験および単位認定試験を実施、試験の合格点は30点以上。</p> <p>・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。</p> <p>・教科に関する活動における顕著な成果等を増単位として認める場合がある。</p>								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
情報 I	必修	3	1	6	3	6			
ねらい 特色	情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得し、情報に関する科学的な見方や、考え方を身につける。また、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を身につける。								
履修順序	・特に無し								
教科書 副教材	・新編情報 I (東京書籍 情 I 701) ・新編情報 I 資料ノート								
メディア活用	・NHK 高校講座(情報 I)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)
4	<オリエンテーション> 1章情報で問題を解決する 1情報とメディアの特性 2問題解決の流れ		第 1 回		10	17目的に応じたデジタル化 18情報デザイン 19ユニバーサルデザイン 20情報デザインの流れ			④ (10/31)
5	3発想法 4情報モラル 5個人情報の流出 6傷つかない傷つけないために	1 【第 3 週】	第 2 回	① (5/12)	11	3 章コンピュータを活用する 21コンピュータとは何か ～24アルゴリズムの表現 25プログラムの基本構造 1		第 11 回 第 12 回	
6	7著作権 8情報技術の発展 ～10よりよい情報化社会へ		第 3 回	② (6/30)	12	26プログラムの基本構造 2 27発展的なプログラム 1 ～30シミュレーションの活用	4 【第 2 週】	第 13 回	⑤ (12/15)
7	2章情報を伝える 11コミュニケーションの手段の変化 12ネットコミュニケーションの特徴	2 【第 2 週】	第 6 回		1	4 章データを活用する 31ネットワークとインターネット ～34インターネット上のサービス	5 【第 4 週】		
8	夏期休業中の課題				2	35情報セキュリティ 36データの形式 37データベースの活用	6 【第 2 週】		⑥ (2/2)
9	13デジタルの世界へ ～16色と動画のデジタル表現	3 【第 4 週】	第 7 回 第 8 回	③ (9/22)	3	38さまざまなデータモデル 39データ分析の流れ 40目的に合わせたデータの活用			
評価の観点	①【知識・技能】⇒定期試験、レポート など ②【思考・判断・表現】⇒定期試験、レポート、面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成) など ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒面接指導(面接指導への取り組み、課題作成) など								
評価の方法	・試験成績(小テストを含む)、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数・授業態度で評価を行う。 ・試験は 1 学期期末試験、2 学期期末試験、および単位認定試験を実施する。なお、試験の合格点は 30 点以上。 ・レポートの評価は A、B、C の三段階とし、C は再提出となる。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
情報Ⅱ	標準履修	3	2	6	3	6			
ねらい 特色	具体的な問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を活用するための知識と技術を身に付けるようにし、適切かつ効果的、創造的に活用する力を養い、情報社会に参画し、その発見に寄与するための資質・能力を養う								
履修順序	・1年次に情報Ⅰを履修後								
教科書 副教材	・新編情報Ⅱ（東京書籍 情Ⅱ701）								
メディア活用	・オリジナルメディア教材								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート (※切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート (※切)
4	<オリエンテーション> 情報社会の進展と情報技術 問題解決学習の進め方				10	データの収集と整理			④ (10/31)
5	人間の知的活動への影響 コミュニケーションの多様化 コミュニケーションの特徴の 具体例を挙げる	1 【第3週】	第1回	① (5/19)	11	データの分析と分類 モデルの評価と検証 機械学習と人工知能	4 【第2週】		
6	メディアの特性と利用 コンテンツ制作 コンテンツの発信			② (6/30)	12	情報システム 情報セキュリティ技術 ガチャは何回引けば当たる のか	5 【第3週】	第3回	⑤ (12/14)
7	社会にあふれるデータ	2 【第2週】			1	情報システムの設計	6 【第2週】		
8	夏期休暇課題				2	情報システムのプログラム			⑥ (2/2)
9	データベースの管理と操作 テキストマイニング	3 【第4週】	第2回	③ (9/22)	3				
評価の観点	①【知識・技能】⇒定期試験、レポート など ②【思考・判断・表現】⇒定期試験、レポート、面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成) など ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒面接指導(面接指導への取り組み、課題作成) など								
評価の方法	・試験成績(小テストを含む)、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数・授業態度で評価を行う。 ・試験は1学期期末試験、2学期期末試験、および単位認定試験を実施する。なお、試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
情報処理-2	標準履修	2	3	2	3	4			
ねらい 特色	・競争が激化する現代ビジネス社会において、プレゼンテーションの意義と必要性を理解し、情報を効率よく収集する力を身に付け、情報を相手にわかりやすく正確に伝える力を身につける。								
履修順序	・1年次「社会と情報」で情報処理の基礎を学び、その応用として2年次から、連続履修する。								
教科書 副教材	・情報処理(実教出版 商業342)								
メディア活用	・NHK 高校講座 (社会と情報)								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート (×切)
4	5章 プレゼンテーション 1節 プレゼンテーションの技法 1. プレゼンテーションの意義と必要性について 2. 形式別によるプレゼンテーションの種類分け		第5回		10	プレゼンテーションの実施準備(個人)	3 【第4週】	第13回	③ (10/31)
5	3. プレゼンテーションのツール 3節プレゼンテーションの基礎 1. 全体の流れについて	1 【第3週】		① (5/15)	11	プレゼンテーションの実施		第15回	
6	2. 目的の確立 (発表内容の決定) 3. 資料収集と内容整理		第6回		12	プレゼンテーションの実施	4 【第3週】		④ (12/8)
7	4. 序論-本論-結論のプランニング 5. 資料(原稿)作成 リハーサル			② (7/14)	1	総合問題(まとめ)		第19回	
8	プランニングシート作成				2	総合問題(まとめ)			
9	プレゼンテーション実施(発表)	2 【第3週】	第12回		3	総合問題(まとめ)			
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回の定期試験と実技試験(課題)に、年間4枚のレポート評価(3段階)授業態度、理解度、意欲・関心、出席、課題提出などを総合して評価する。 ・試験は各学期に実施する。なお、試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
ビジネス基礎	標準履修	2	3	2	3	4			
ねらい 特色	・商業の各分野における基本的な知識と技術を身に付け、ビジネスに対する望ましい心構えや理念をきちんと理解させ、ビジネスの現場で行なわれるいろいろな活動を合理的かつ主体的に実行できる能力と態度を身に付ける								
履修順序	・3年次において、履修する。								
教科書 副教材	・ビジネス基礎 新訂版(実教出版 商業334)								
メディア活用	・NHK 高校講座(ビジネス基礎)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (枚切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (枚切)
4	第1章 商業の学習ガイダンス 1 21世紀にはばたく 2 しっかり楽しく学んでいこう 第2章 経済と流通の基礎 1 経済のしくみとビジネス		第1回 第2回		10	第4章 企業活動の基礎 4 雇用 5 企業倫理	3 【第4週】	第11回 第12回	③ (10/31)
5	2 社会の変化と ビジネスの発展 3 経済活動とビジネス	1 【第2週】	第3回 第4回	① (5/26)	11	第5章 ビジネスと 売買取引 1 売買取引の手順 2 代金決済		第13回 第14回	
6	第3章 ビジネスの担い手 1 ものの生産者 2 サービスの生産者 3 小売業者 4 卸売業者		第5回 第6回		12	第6章 売買に関する 計算 1 売買に関する 計算の基礎 2 売買に関する 計算の応用	4 【第2週】	第15回 第16回	④ (12/15)
7	5 物流業者 6 金融業者 7 情報通信業者		第7回 第8回	② (7/14)	1	第7章 ビジネスと コミュニケーション 1 コミュニケーション		第17回 第18回	
8	企業研究				2	2 ビジネスマナー 3 情報の入手と活用		第19回 第20回	
9	第4章 企業活動の基礎 1 ビジネスと企業 2 資金調達 3 企業活動と税	2 【第2週】	第9回 第10回		3	1年間のまとめ			
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の定期試験と、年間4枚のレポート評価(3段階)、授業態度、理解度、意欲・関心、出席、課題提出などを総合して評価する。 ・試験は各学期に実施する。なお、試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価はA、B、Cの3段階とし、Cは再提出となる。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
保育基礎	標準履修	2	2	2	3	4			
ねらい 特色	・保育の意義や方法、子どもの発達と生活の特徴について理解し保育や子育て支援に寄与する資質・能力を養う。								
履修順序	・2年生(1年次で家庭基礎を履修済み)								
教科書 副教材	・保育基礎 (実教出版 家庭 707)								
メディア活用	・NHK 高校講座(家庭総合)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)
4	1章 こどもの保育 1節 保育の意義 I II 2節 保育の方法 I		第6回		10	3章 子どもの生活 1節 子どもの生活と養護 I II	3 【第3週】	第8回 第24回	
5	2節 保育の方法 II 3節 保育の環境 I II III	1 【第3週】	第9回		11	1節 子どもの生活と養護 III 2節 生活習慣の形成 I II	4 【第3週】	第31回	3 (11/10)
6	2章 子どもの発達 1節 子どもの発達の特性 I II 2節 子どものからだの発達 I II	2 【第2週】	第6回	1 (6/9)	12	2節 生活習慣の形成 III		第8回	
7	子どものからだの 発達 III		第7回		1	3節 健康管理と事故防止 I II		第8回	4 (1/31)
8	【夏季休業期間中の課題】 幼児の観察				2	1年間の総復習		第36回	
9	3節 子どもの心の 発達 I II III		第7回	2 (9/15)	3	次年度に向けて		第10回	
評価の観点	①【知識・技能】⇒定期試験、レポート、討論・発表 など ②【思考・判断・表現】⇒定期試験、レポート、面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成) など ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成) など								
評価の方法	・試験成績、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数、態度で評価を行う。 ・試験は、1学期期末試験、2学期期末試験および単位認定試験を実施、試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。 ・教科に関する活動における顕著な成果等を増単位として認める場合がある								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
子ども文化	標準履修	2	3	2	3	4			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊びの意義と重要性及び、遊びの種類と発達との関わりについて理解を深めていく。 ・児童文化財などに関する知識と技術を習得させ、児童文化の充実を図る能力と態度の習得を目指す。 								
履修順序	・2年次「子どもの発達と保育」に取り組み、3年次に履修する。								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども文化（文部科学省 家庭 309） ・子どもの発達と保育（教育図書 家庭 304） 								
メディア活用	・NHK 高校講座(家庭総合)								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート (×切)
4	第1章 子ども文化とは何だろう 第1節 子ども文化とは 第2節 子ども文化を歴史から見る		第7回		10	第3章 子供と表現活動 第1節 子供の表現活動の面白さ 第2節 造る・描く			
5	第2章 子供と遊び 第1節 遊びと発達 第2節 遊びの現状	1 【第2週】			11	第3節 言語表現活動 第4節 歌う、踊る、演奏する 第5節 表現活動の実際	2 【第2週】		③ (11/10)
6	第3節 遊びと遊具・玩具 第4節 遊びと伝承			① (6/2)	12	第5章 現代の子供の生活と文化 第1節 テレビ、キャラクター、ゲーム			
7	第4章 子供と文学 第1節 語り 第2節 紙芝居				1	第2節 子供と年中行事 第6章 子ども文化を支える場 第1節 行政による公的な支え方 第2節 民間企業による支え方 第3節 子供のための各種施設			④ (1/12)
8	【夏季休業期間中の課題】 絵本について				2	第7章 子ども文化実習 第1節 子供と関わる前に 第2節 遊びの観察と子供理解		第8回	
9	第3節 絵本 第4節 児童文学 第5節 アニメーション			② (9/22)	3				
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の点数(30点以上で合格) ・出席状況や授業態度、課題提出の評価を行う。 ・レポートの評価を行う。(A、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。) 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
表現メディアの編集と表現	標準履修	2	3	4	3	4			
ねらい 特色	・HTML と CSS を用いて、オリジナルの web ページを制作できる。								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	・Life is tech! Lesson (Web 教材) を使用								
メディア活用	・Life is tech! Lesson								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (枚切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (枚切)
4	【導入】 Web ページと HTML/CSS				10	応用記述② ・ナビゲーション			
5	1.情報デザイン 基本構文① ・文書・画像表示	1 【第3週】	Lesson1 Lesson2 Lesson3	① (5/20)	11	3、オリジナル作品制作	3 【第1週】		③ (11/29)
6	基本構文② ・枠組み		Lesson5 Lesson6 Lesson7		12	3、オリジナル作品制作	4 【第1週】		
7	・背景画像の扱い			② (7/8)	1	3、オリジナル作品制作			
8	夏期休暇課題				2	3、オリジナル作品制作			④ (2/7)
9	2. 情報表現・視覚表現 応用記述① ・表の作成	2 【第1週】			3	3、オリジナル作品制作			
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の定期試験と、年間4枚のレポート評価(3段階)、授業態度、理解度、意欲・関心、出席、課題提出などを総合して評価する。 ・試験は各学期に実施する。なお、試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価は A、B、C の3段階とし、C は再提出となる。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
情報コンテンツ実習	標準履修	2	3	4	2	4			
ねらい 特色	・写真や音楽などを利用し、それぞれの特性やコンピュータによる動画編集に必要な基礎的な知識と技術を身につけさせる。								
履修順序	・特に無し								
教科書 副教材	・表現メディアの編集と表現（実教出版）								
メディア活用	・オリジナルメディア教材								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)
4	オリエンテーション 第1節アニメーション 1. 影絵から始まる映像の歴史				10	第2節 ビデオ 2. コンピュータとデジタルビデオ			
5	2. アニメーションの種類	1 【第2週】		① (5/26)	11	第2節 ビデオ 2. コンピュータとデジタルビデオ	4 【第2週】		③ (11/10)
6	第2節 ビデオ 4. ビデオ制作の流れ		第1回		12	第5節 映像コンテンツの制作 1. Web による映像公開			④ (12/14)
7	第2節 ビデオ 4. ビデオ制作の流れ	2 【第2週】		② (7/7)	1	2. DVD の制作			
8	夏期休暇課題				2	1年間の復習			
9	第4節 サウンド 1. 音	3 【第2週】	第2回		3				
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験成績(小テストを含む)、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数・授業態度で評価を行う。 ・試験は1学期期末試験、2学期期末試験、および単位認定試験を実施する。なお、試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
アルゴリズムとプログラム-2	標準履修	2	3	4	3	4			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を順序立てて考え、整理することができるようにする。 ・簡単なプログラムを作成できるようにするとともに、アルゴリズムの工夫について考え、整理することができるようにする。 								
履修順序	・2年次「アルゴリズムとプログラム-1」を履修後、3年次に履修する。								
教科書 副教材	・アルゴリズムとプログラム(実教出版 情報305)								
メディア活用	・NHK 高校講座(情報 I)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)
4	オリエンテーション 3章プログラミング 応用プログラム 【実技】「サイコロ」				10	7章整列 1節整列とは 2節交換法 【実技】「タイマー②」			
5	4章数値計算の基礎 1節数値計算の基礎 2節アルゴリズムの工夫 【実技】 「合計と平均」	1 【第2週】			11	3節選択法 4節挿入法 【実技】「じゃんけんゲーム」		第14回 第15回	③ (11/15)
6	5章データ構造 1節基本的なデータ構造 2節リストと木構造 【実技】「あっち向いてホイ」	2 【第3週】	第4回 第5回	① (6/14)	12	【実技】「じゃんけんゲーム」	4 【第2週】	第16回 第17回	
7	3節スタックとキュー 【実技】「タイマー」				1	【実技】「じゃんけんゲーム」			④ (1/31)
8	夏期休業中の課題				2	【実技】「じゃんけんゲーム」			
9	6章探索 1節探索とは 2節線形探索 3節二分探索 【実技】「ストップウォッチ」	3 【第4週】		② (9/20)	3	【実技】「じゃんけんゲーム」			
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験成績(小テストを含む)、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数・授業態度で評価を行う。 ・試験は1学期期末試験、2学期期末試験、および単位認定試験を実施する。なお、試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
コンテンツの制作と発信	標準履修	2	2	4	3	4			
ねらい 特色	・HTML と CSS を用いて、オリジナルの web ページを制作できる。								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	・Life is tech! Lesson(Web 教材)を使用								
メディア活用	・Life is tech! Lesson								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (メ 切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (メ 切)
4	【導入】 Web ページと HTML/CSS				10	応用記述② ・ナビゲーション			
5	1.情報デザイン 基本構文① ・文書・画像表示	1 【第 3 週】	Lesson1 Lesson2 Lesson3	① (5/20)	11	3、オリジナル作品制作	3 【第 2 週】		③ (11/29)
6	基本構文② ・枠組み		Lesson5 Lesson6 Lesson7		12	3、オリジナル作品制作	4 【第 2 週】		
7	・背景画像の扱い			② (7/8)	1	3、オリジナル作品制作			
8	夏期休暇課題				2	3、オリジナル作品制作			④ (2/2)
9	2. 情報表現・視覚表現 応用記述① ・表の作成	2 【第 2 週】			3	3、オリジナル作品制作			
評価の観点	①【知識・技能】⇒定期試験、レポート など ②【思考・判断・表現】⇒定期試験、レポート、面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成) など ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒面接指導(面接指導への取り組み、課題作成)など								
評価の方法	・試験成績(小テストを含む)、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数・授業態度で評価を行う。 ・試験は 1 学期期末試験、2 学期期末試験、および単位認定試験を実施する。なお、試験の合格点は 30 点以上。 ・レポートの評価は A、B、C の三段階とし、C は再提出となる。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
漢字検定ゼミC	学校設定	2	3	2	1	6			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力・漢字能力は「すべての学習の基礎」においても基礎的な力となるため、基礎から個々のレベルに合わせて、基礎力を身につけさせる。 ・学習の動機づけとして、「漢検合格」という目標設定をし、こつこつと学習に取り組ませる。 								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・新総合 図説国語（東京書籍） ・常用漢字フォルダ 								
メディア活用	・NHK 高校講座(ベーシック国語)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)
4	<学習ガイダンス>				10	総合問題② 過去問題を使用し、より実践的な問題に取り組む	2 【第4週】	第35回 第36回	
5	・個々のレベルの把握 ・毎週小テストを行い、苦手分野を知り、克服に向けた学習方法を習得する	1 【第4週】	第29回 第30回	① (5/19)	11	1月の受検に向け、弱点の強化		第37回 第38回	⑤ (11/10)
6	毎週小テストを行い、苦手分野を知り、克服に向けた学習方法を習得する		第31回 第32回	② (6/9)	12	総合問題③ 受検級の練習問題と模擬試験に取り組む		第39回 第40回	⑥ (12/8)
7	毎週小テストを行い、苦手分野を知り、克服に向けた学習方法を習得する		第33回	③ (7/7)	1	総合問題④ 受検級の模擬試験に取り組む			
8	1、「漢字の読み・書き」 2、「四字熟語」 3、「熟語の構成」「部首」 4、「対義語・類義語」 5、「同音・同訓異字」				2	次年度に挑戦する級を定め、各自学習を進める			
9	総合問題① 一学期の定着度を知る		第34回	④ (9/15)	3				
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・年間1回の期末試験(30点以上合格) ・年間6回のレポート(3段階評価) ・ノート、課題提出、学習の振り返り、発表、意欲・関心・態度、その他、総合的に評価する。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
漢字検定ゼミ A	学校設定	2	1	2	1	6			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力・漢字能力は「すべての学習の基礎」においても基礎的な力となるため、基礎から個々のレベルに合わせて、基礎力を身につけさせる。 ・学習の動機づけとして、「漢検合格」という目標設定をし、こつこつと学習に取り組ませる。 								
履修順序	特になし								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・新総合 図説国語（東京書籍） ・常用漢字フォルダ 								
メディア活用	・NHK 高校講座（ベーシック国語）								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート (枚切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート (枚切)
4	<学習ガイダンス>				10	総合問題② 過去問題を使用し、より実践的な問題に取り組む	2 【第4週】	第10回 第11回	④ (10/20)
5	・個々のレベルの把握 ・毎週小テストを行い、苦手分野を知り、克服に向けた学習方法を習得する	1 【第4週】	第2回 第3回	① (5/19)	11	1月の受検に向け、弱点の強化		第12回 第13回	
6	毎週小テストを行い、苦手分野を知り、克服に向けた学習方法を習得する		第4回 第5回	② (6/9)	12	総合問題③ 受検級の練習問題と模擬試験に取り組む		第14回	⑤ (12/8)
7	毎週小テストを行い、苦手分野を知り、克服に向けた学習方法を習得する		第8回	③ (7/7)	1	総合問題④ 受検級の模擬試験に取り組む		第15回	⑥ (1/26)
8	1、「漢字の読み・書き」 2、「四字熟語」 3、「熟語の構成」「部首」 4、「対義語・類義語」 5、「同音・同訓異字」				2	次年度に挑戦する級を定め、各自学習を進める			
9	総合問題① 一学期の定着度を知る		第9回		3	一年間のまとめ			
評価の観点	①【知識・技能】 ⇒ レポート、課題作成 ②【思考・判断・表現】 ⇒ レポート、面接指導（小テスト、課題作成） ③【主体的に学習に取り組む態度】 ⇒ 面接指導（面接指導への取り組み、小テスト、課題作成）								
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・年間1回の期末試験(30点以上合格) ・年間6回のレポート(3段階評価) ・ノート、課題提出、小テスト、学習の振り返り、意欲・関心・態度、その他、総合的に評価する。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
漢字検定ゼミ B	学校設定	2	2	2	1	6			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力・漢字能力は「すべての学習の基礎」においても基礎的な力となるため、基礎から個々のレベルに合わせて、基礎力を身につけさせる。 ・学習の動機づけとして、「漢検合格」という目標設定をし、こつこつと学習に取り組ませる。 								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・新総合 図説国語（東京書籍） ・常用漢字フォルダ 								
メディア活用	・NHK 高校講座(ベーシック国語)								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート(×切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート(×切)
4	<学習ガイダンス>				10	総合問題② 過去問題を使用し、より実践的な問題に取り組む	2 【第4週】	第23回 第24回	④ (10/20)
5	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のレベルの把握 ・毎週小テストを行い、苦手分野を知り、克服に向けた学習方法を習得する 	1 【第4週】	第17回 第18回	① (5/19)	11	1月の受検に向け、弱点の強化		第25回 第26回	
6	毎週小テストを行い、苦手分野を知り、克服に向けた学習方法を習得する		第19回 第20回	② (6/9)	12	総合問題③ 受検級の練習問題と模擬試験に取り組む		第27回	⑤ (12/8)
7	毎週小テストを行い、苦手分野を知り、克服に向けた学習方法を習得する		第21回	③ (7/7)	1	総合問題④ 受検級の模擬試験に取り組む		第28回	⑥ (1/26)
8	1、「漢字の読み・書き」 2、「四字熟語」 3、「熟語の構成」「部首」 4、「対義語・類義語」 5、「同音・同訓異字」				2	次年度に挑戦する級を定め、各自学習を進める			
9	総合問題① 一学期の定着度を知る		第22回		3	一年間のまとめ			
評価の観点	①【知識・技能】⇒ レポート、課題作成 ②【思考・判断・表現】⇒ レポート、面接指導(小テスト、課題作成) ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成)								
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・年間1回の期末試験(30点以上合格) ・年間6回のレポート(3段階評価) ・ノート、課題提出、小テスト、学習の振り返り、意欲・関心・態度、その他、総合的に評価する。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
文学ゼミC	学校設定	2	3	2	1	6			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のある文学者をより深く調べ、理解を深める。 ・文学館などを訪れることにより、文学をより身近に感じる機会をつくる。 ・日本文学史の流れを知る。 ・百人一首を通して、和歌の表現方法を学ぶ。 								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・新総合 図説国語(東京書籍) ・その他、資料は各自準備 								
メディア活用	・NHK 高校講座(現代文)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)
4	1、文学者研究① 一人の文学者を取り上げ、生い立ちや実績などを調べる。				10	5、文学史研究	2 【第4週】	第40回	
5	文学者研究①	1 【第4週】	第35回	① 【5/19】	11	6、百人一首研究		第41回	⑤ 【11/10】
6	2、文学者研究② 一人の文学者を取り上げ、生い立ちや実績などを調べる。		第36回 第37回	② 【6/9】	12	百人一首研究		第42回	⑥ 【12/8】
7	文学者研究②		第38回	③ 【7/7】	1	百人一首研究報告			
8	3、文学記念館訪問				2	一年間のまとめ			
9	4、文学館記念訪問報告		第39回	④ 【9/15】	3				
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・年間1回の期末試験(30点以上合格) ・取り組みの態度や、課題提出状況の評価を行う。 ・レポートの評価を行う。(A、B、Cの3段階とし、Cは再提出となる) 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
課題研究国語	学校設定	2	2	2	1	6			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書・辞典の使い方を学習し、語彙を増やす。 ・漢字の知識（類義語・対義語、四字熟語、慣用句など）を増やす。 ・文章を書くことにより、表現する力を伸ばす。 								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	・新総合 図説国語（東京書籍）								
メディア活用	・NHK 高校講座(国語表現)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (枚切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (枚切)
4	学習ガイダンス				10	4、ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成句	2 【第4週】	第回	④ (10/20)
5	辞書・辞典の使い方を学習する。	1 【第4週】	第17回	① (5/19)	11	5、新聞を読む			
6	1、漢字の読み書き・類義語・対義語(1)		第18回	② (6/9)	12	ガイダンス（作文の書き方）			⑤ (12/8)
7	2、漢字の読み書き・類義語・対義語(2)			③ (7/7)	1	6、テーマを決めて作文を書く			⑥ (1/12)
8	夏季休暇課題				2	1年間の総まとめ（漢字学習）			
9	2、漢字の読み書き・類義語・対義語(3)		第19回 第20回		3	1年間の総まとめ（文章作成）			
評価の観点	①【知識・技能】⇒ レポート、課題作成 ②【思考・判断・表現】⇒ レポート、面接指導（小テスト、課題作成） ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 面接指導（面接指導への取り組み、小テスト、課題作成）								
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・年間1回の期末試験(30点以上合格) ・年間6回のレポート(3段階評価) ・ノート、課題提出、小テスト、学習の振り返り、意欲・関心・態度、その他、総合的に評価する。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
国語演習	学校設定	2	3	2	3	6			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・練習問題を解くことを通して、現代文の読解力を身に付けると同時に、出題の型やその答え方を知る。 ・多くの文章に触れ、漢字・語彙など、国語の知識を身に付ける。 ・練習問題を解きながら、さまざまな領域のことについて問題意識や自分の意見を持つ習慣を身に付ける。 								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・現代文読解 基礎をしっかりと固める トレーニングノート(受験研究社) ・新総合 図説国語(東京書籍) 								
メディア活用	・NHK 高校講座(国語表現)								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート(×切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート(×切)
4	◎学習ガイダンス 1、接続語・指示語 2、文章構成 演習:漱石は小説の先生である				10	4、カタカナ語・略語 5、同音異義語・同訓異義語・四字熟語	2 【第4週】	第33回	
5	演習:吉里吉里人 演習:日本語はなぜ変化するのか	1 【第4週】	第17回	① 【5/19】	11	演習:からだ・いのちはだれのものか 演習:持たないという豊かさ 演習:日本文化私観		第34回	⑤ 【11/10】
6	演習:通訳者は現代の巫女か 3、現代文重要語 演習:こうばしい日々		第18回 第19回	② 【6/9】	12	6、文学史 演習:居住空間における日本的なもの		第35回	⑥ 【12/8】
7	演習:翻訳者の姿勢		第20回	③ 【7/7】	1	実践問題練習			
8	夏季休暇課題				2	実践問題練習			
9	演習:用具から道具へ 演習:日本辺境論 演習:若者の法則		第32回	④ 【9/15】	3				
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・年間3回の期末試験(30点以上合格) ・年間6回のレポート(3段階評価) ・ノート、課題提出、学習の振り返り、発表、意欲・関心・態度、その他、総合的に評価する。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
小論文ゼミ	学校設定	2	3	2	1	6			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・進路活動で必要な文章表現力を身に付けるための、知識や技術を学ぶ。 ・提示されたテーマに即した文章を作成する、実践的な演習を行う。 								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・国語表現（教育出版 国表 301） ・新総合 図説国語（東京書籍） 								
メディア活用	・NHK 高校講座(国語表現)								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート (×切)
4					10				
5	「ゼミガイダンス」 1. 自己認識を深める	1 【第4週】	第8回	① (5/19)	11				
6	2. 自己評価をする 3. 将来を考える		第9回 第29回	② (6/2) ③ (6/16)	12				
7	4. 要約をする 5. 自分の意見をまとめる		第30回	④ (7/7)	1				
8	夏季休暇課題				2				
9	6. 社会問題について論じる	2 【第4週】	第31回	⑤ (9/8) ⑥ (9/29)	3				
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・年間1回の期末試験(30点以上合格) ・取り組みの態度や、課題提出状況の評価を行う。 ・レポートの評価を行う。(A、B、Cの3段階とし、Cは再提出となる) 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
数学ゼミ	学校設定	2	3	2	4	6			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・場合の数と確率、数列について理解し、事象を数学的に考察し処理できるようにする。 ・数学的に物事の法則を理解しようとし、それらを活用する態度を養う。 								
履修順序	<ul style="list-style-type: none"> ・数学Ⅰを履修した後が望ましい。 								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・改訂 新数学 A(東京書籍 数 A319) ・ニューファースト 数学 A(東京書籍 数 A319) ・ベシック数学 数学 B 数列(中部日本教育文化会) 								
メディア活用	<ul style="list-style-type: none"> ・NHK 高校講座(数学Ⅰ)(ベシック数学) 								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (\times 切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (\times 切)
4	【場合の数と確率】 1章 場合の数と確率 1節 場合の数 集合 集合の要素の個数		(数学Ⅰ) 第40回 (ベ数) 第32回		10	【数列】 数列の意味 等差数列			⑤ (10/27)
5	和の法則 積の法則 順列		(ベ数) 第33回	① (5/19)	11	等差数列の和 等比数列	2 【第2週】		
6	重複順列 円順列 組み合わせ	1 【第3週】		② (6/9)	12	等比数列の和 いろいろな数列			⑥ (12/8)
7	2節 確率 確率の意味 確率の計算		(ベ数) 第34回 第35回	③ (7/14)	1	1学期の復習			
8	課題学習				2	2学期の復習			
9	独立な試行の計算 反復試行の確率 条件付き確率		(ベ数) 第36回	④ (9/29)	3	まとめ			
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験成績(小テストを含む)、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数、授業態度で評価を行う。 ・試験は1学期期末試験、2学期中間試験、2学期期末試験、単位認定試験を実施する。なお、試験の合格点は30点以上。 ・レポートを評価はA,B,Cの3段階とし、Cは再提出となる。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
ベーシック数学	学校設定	2	1	2	5	6			
ねらい 特色	「学び直し」を通して、数学的に考察する能力を培い、数学の良さを認識するとともに、それらを身近な事象で活用する態度を養う。数の計算、数と式、集合と論証について深く理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・新数学 I (東京書籍 数 I 704) ・新数学 I 解答編 (東京書籍 数 I 705) ・ニューファースト 新数学 I (東京書籍) 								
メディア活用	・NHK 高校講座(数学 I) (ベーシック数学)								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート (\times 切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート (\times 切)
4	【数の計算】 1. 整数の計算 2. 小数・分数の計算		(ベ数) 第 1 回		10	2 節 実数	2 【第 4 週】	(ベ数) 第 9 回 第 10 回	④ (10/27)
5	3. 計算の利用		(ベ数) 第 2 回	① (5/26)	11	3 節 方程式と不等式		(数学 I) 第 4 回 第 5 回 (ベ数) 第 16 回	
6	4. 正負の数の計算	1 【第 3 週】		② (6/30)	12	1 章のまとめ			⑤ (12/8)
7	【1 章 数と式】 1 節 文字と式		(ベ数) 第 5 回		1	【5 章 集合と論証】 1 節 集合と論証		(数学 I) 第 39 回	
8	課題学習				2	5 章のまとめ			⑥ (2/2)
9	1 節 文字と式		(ベ数) 第 6 回 第 7 回 第 8 回	③ (9/29)	3	【課題学習】			
評価の観点	1【知識・技能】⇒ 定期試験、レポート、小テスト、発表 など 2【思考・判断・表現】⇒ 定期試験、レポート、面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成) など 3【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、小テスト、課題作成) など								
評価の方法	・試験はプレ試験、1 学期期末試験、2 学期中間試験、2 学期期末試験、単位認定試験を実施する。なお、試験の合格点は 30 点以上。レポートの評価は A、B、C の三段階とし、C は再提出となる。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
数学演習ゼミ C(応用)	学校設定	2	3	2	1	6			
ねらい 特色	実用数学技能検定準 2 級の合格を目的とする。								
履修順序	特になし								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・改訂 新数学 I (東京書籍 数 I 319) ・改訂 新数学 A(東京書籍 数 A319) 								
メディア活用	NHK 高校講座(数学 I)(ベーシック数学)								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート (\times 切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート (\times 切)
4	○式の計算 展開・因数分解 分母の有理化		(数 I) 第 2,3 回 第 6,7 回		10	三角比の応用			
5	○不等式 不等式の解き方 ○2次関数 2次関数とそのグラフ	1 【第 3 週】	(数 I) 第 17 回 第 18 回 第 20 回	① (5/12)	11	○三角形の面積 外接円との関係		(数 I) 第 29 回 第 30 回	⑤ (11/2)
6	最大値・最小値 ○数と集合 集合の表し方 ○順列と組合せ 順列と組合せの計算、余事象			② (6/9)	12	○2次試験対策			⑥ (12/8)
7	○確率 確率の表し方、計算 ○数列 等差数列、等比数列の一般項、和の求め方		(ベ数) 第 34 回 ～ 第 36 回	③ (7/7)	1				
8	課題学習				2				
9	○三角比 鋭角・鈍角の三角比	2 【第 4 週】	(ベ数) 第 28 回	④ (9/22)	3	過去問演習			
評価の観点	レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数、授業態度で評価を行う。								
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験成績(小テストを含む)、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数、授業態度で評価を行う。 ・試験は単位認定試験を実施する。なお、試験の合格点は 30 点以上。 ・レポートを評価は A,B,C の 3 段階とし、C は再提出となる。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
数学演習ゼミ A(基礎)	学校設定	2	1	2	1	6			
ねらい 特色	実用数学技能検定準 2 級の合格を目的とする。								
履修順序	特になし								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・改訂 新数学 I (東京書籍 数 I 319) ・改訂 新数学 A(東京書籍 数 A319) 								
メディア活用	NHK 高校講座(数学 I)(ベーシック数学)								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート(※切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート(※切)
4	○式の計算 展開・因数分解 分母の有理化		(数 I) 第 2,3 回 第 6,7 回		10	三角比の応用			
5	○不等式 不等式の解き方 ○2次関数 2次関数とそのグラフ	1 【第 3 週】	(数 I) 第 17 回 第 18 回 第 20 回	① (5/12)	11	○三角形の面積 外接円との関係		(数 I) 第 29 回 第 30 回	⑤ (11/2)
6	最大値・最小値 ○数と集合 集合の表し方	2 【第 2 週】		② (6/9)	12	○2次試験対策			⑥ (12/8)
7	○順列と組合せ 順列と組合せの計算、余事象 ○確率 確率の表し方、計算 ○数列 等差数列、等比数列の一般項、和の求め方		(ベ数) 第 34 回 ～ 第 36 回		1				
8	課題学習				2				
9	○三角比 鋭角・鈍角の三角比		(ベ数) 第 28 回	④ (9/22)	3	過去問演習			
評価の観点	レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数、授業態度で評価を行う。								
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験成績(小テストを含む)、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数、授業態度で評価を行う。 ・試験は単位認定試験を実施する。なお、試験の合格点は 30 点以上。 ・レポートを評価は A,B,C の 3 段階とし、C は再提出となる。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
数学演習ゼミ B(発展)	学校設定	2	2	2	1	6			
ねらい 特色	実用数学技能検定準 2 級の合格を目的とする。								
履修順序	特になし								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> 改訂 新数学 I (東京書籍 数 I 319) 改訂 新数学 A(東京書籍 数 A319) 								
メディア活用	NHK 高校講座(数学 I)(ベーシック数学)								
学習計画									
月	単元	面接指導	メディア	レポート (枚切)	月	単元	面接指導	メディア	レポート (枚切)
4	○式の計算 展開・因数分解 分母の有理化		(数 I) 第 2,3 回 第 6,7 回		10	三角比の応用			
5	○不等式 不等式の解き方 ○2次関数 2次関数とそのグラフ	1 【第 3 週】	(数 I) 第 17 回 第 18 回 第 20 回	① (5/12)	11	○三角形の面積 外接円との関係		(数 I) 第 29 回 第 30 回	⑤ (11/2)
6	最大値・最小値	2 【第 2 週】		② (6/9)	12	○2次試験対策			⑥ (12/8)
7	○数と集合 集合の表し方 ○順列と組合せ 順列と組合せの計算、余事象 ○確率 確率の表し方、計算 ○数列 等差数列、等比数列の一般項、和の求め方		(ベ数) 第 34 回 ~ 第 36 回		1				
8	課題学習				2				
9	○三角比 鋭角・鈍角の三角比		(ベ数) 第 28 回	④ (9/22)	3	過去問演習			
評価の観点	レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数、授業態度で評価を行う。								
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 試験成績(小テストを含む)、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数、授業態度で評価を行う。 試験は単位認定試験を実施する。なお、試験の合格点は 30 点以上。 レポートを評価は A,B,C の 3 段階とし、C は再提出となる。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
課題研究理科	学校設定	2	3	8	1	6			
ねらい 特色	・科学的な現象に関する基本的な原理・法則を理解すると共に、科学的な現象を探求する方法を身に付ける。								
履修順序	・特に無し								
教科書 副教材	・東京書籍「科学と人間生活」(科人701)								
メディア活用	・NHK 高校講座(ベーシックサイエンス)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)
4	課題研究理科についてのガイダンス		第1回 第2回 第3回		10	テーマの研究	5 【第4週】	第21回 第22回 第23回 第24回 第25回 第26回	④ (10/27)
5	研究テーマの決定 テーマの研究	1 【第2週】	第4回 第5回 第6回 第7回	① (5/19)	11	テーマの研究 研究の成果報告	6 【第2週】	第27回 第28回 第29回 第30回 第31回 第32回 第33回	⑤ (11/27)
6	テーマの研究	2 【第2週】	第8回 第9回 第10回 第11回 第12回	② (6/16)	12	研究の考察	7 【第2週】	第34回 第35回 第36回 第37回 第38回	⑥ (12/8)
7	テーマの研究	3 【第2週】	第13回 第14回		1	研究の考察	8 【第2週】	第39回 第40回	
8	テーマの研究				2	研究のまとめ			
9	研究の中間報告	4 【第3週】	第15回 第16回 第17回 第18回 第19回 第20回	③ (9/15)	3	研究のまとめ			
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験成績、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数・授業態度で評価を行う。 ・試験は単位認定試験を実施。試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。 ・教科に関する活動における顕著な成果、検定合格等を増単位として認める場合がある。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数		
				面接	試験	添削
自然科学ゼミ(生物)	学校設定	2	3	8	1	6

ねらい 特色	・実験を通して、自然の中の生物科学的な現象に触れるとともに、科学的な見方や考え方を身につける。
履修順序	・特に無し
教科書 副教材	・東京書籍「改訂新編化学基礎」(化基 702)
メディア活用	・特に無し

学習計画

月	単元	面接 指導	メディア	レポート (枚切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (枚切)
4					10				
5					11				
6	ガイダンス	1 【第2週】			12				
7	(1)植物の観察 (2)植物細胞の観察 (3)DNAの抽出	2 3 4 【第3週】 【第4週】		①②③ (7/31)	1				
8	(4)動物の解剖 (5)クロマトグラフィー (6)博物館見学	5 6 7 8 第 【第1週】 【第4週】	16,18,21,2 8回	④⑤⑥ (8/31)	2				
9					3				

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験成績、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数・授業態度で評価を行う。 ・試験は単位認定試験を実施。試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。 ・教科に関する活動における顕著な成果、検定合格等を増単位として認める場合がある。
-------	---

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
自然科学ゼミ(化学)	学校設定	2	2	8	1	6			
ねらい 特色	・実験を通して、身の周りにおける化学的な現象に触れるとともに、科学的な見方や考え方を身につける。								
履修順序	・特に無し								
教科書 副教材	・東京書籍「改訂新編生物基礎」(生基312)								
メディア活用	・特に無し								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)
4					10				
5					11				
6	ガイダンス	1 【第2週】			12				
7	(1)クロマトグラフィー (2)再結晶の実験 (3)電池の仕組み	2 3 4 【第3週】 【第4週】		①②③ (7/31)	1				
8	(4)河川水の水質調査 (5)植物色素によるpH測定 (6)博物館見学	5 6 7 8 【第1週】 【第4週】		④⑤⑥ (8/31)	2				
9					3				
評価の観点	1【知識・技能】⇒ レポート、定期試験、実験 など 2【思考・判断・表現】⇒ 試験、レポート、面接指導(面接指導への取り組み、実験の予想、考察) など 3【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、実験) など								
評価の方法	・定期試験、レポート等の提出物、授業態度で評価を行う。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。 ・教科に関する活動における顕著な成果、検定合格等を増単位として認める場合がある。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
創作ゼミC	学校設定	2	3	8	1	6			
ねらい 特色	・美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	・オリジナル教材								
メディア活用	・オリジナルメディア教材								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (≠切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (≠切)
4	ガイダンス 作品制作計画			① (4/28)	10	作品制作	5 【第1週】	第9回 第10回	
5	作品計画・制作	1 【第2週】	第1回 第2回	② (5/8)	11	作品制作	6 【第2週】	第11回 第12回	
6	作品制作	2 【第2週】	第3回 第4回		12	作品の完成・感想・鑑賞			⑥ (12/15)
7	作品の完成・感想・鑑賞	3 【第2週】	第5回 第6回	③ (7/14)	1	1年間のまとめ			
8	作品制作計画・制作				2				
9	作品制作計画・制作	4 【第2週】	第7回 第8回	④ (9/4) ⑤ (9/11)	3				
評価の観点	①【知識・技能】 ⇒ 課題作品、レポート など ②【思考・判断・表現】 ⇒ 課題作品、レポート、面接指導など ③【主体的に学習に取り組む態度】 ⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、課題作成)、授業出席時間数など								
評価の方法	・年間6回のレポート、課題作品、作品完成に至るまでの制作課程、アイデアスケッチ、関心・意欲・態度など総合的に判断する。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
創作ゼミ A	標準履修	2	1	8	1	6			
ねらい 特色	・美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	・オリジナル教材								
メディア活用	・オリジナルメディア教材								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (≠切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (≠切)
4	ガイダンス 作品制作計画			① (4/28)	10	作品制作	5 【第1週】	第9回 第10回	
5	作品計画・制作	1 【第2週】	第1回 第2回	② (5/8)	11	作品制作	6 【第2週】	第11回 第12回	
6	作品制作	2 【第2週】	第3回 第4回		12	作品制作			
7	作品制作	3 【第2週】	第5回 第6回		1	作品の完成・感想・鑑賞			⑥ (1/31)
8	作品制作・完成				2	1年のまとめ			
9	作品の感想・鑑賞 作品制作計画・制作	4 【第2週】	第7回 第8回	③ (9/1) ④ (9/8) ⑤ (9/15)	3	次年度の作品の構想			
評価の観点	①【知識・技能】⇒ 課題作品、レポート など ②【思考・判断・表現】⇒ 課題作品、レポート、面接指導など ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、課題作成)、授業出席時間数など								
評価の方法	・年間6回のレポート、課題作品、作品完成に至るまでの制作課程、アイデアスケッチ、関心・意欲・態度など総合的に判断する。 ・レポートの評価は A、B、C の三段階とし、C は再提出となる。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
創作ゼミ B	学校設定	2	2	8	1	6			
ねらい 特色	・美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	・オリジナル教材								
メディア活用	・オリジナルメディア教材								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (≠切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (≠切)
4	ガイダンス 作品制作計画			① (4/28)	10	作品制作	5 【第1週】	第9回 第10回	
5	作品計画・制作	1 【第2週】	第1回 第2回	② (5/8)	11	作品制作	6 【第2週】	第11回 第12回	
6	作品制作	2 【第2週】	第3回 第4回		12	作品制作			
7	作品制作	3 【第2週】	第5回 第6回		1	作品の完成・感想・鑑賞			⑥ (1/19)
8	作品制作・完成				2	1年のまとめ			
9	作品の感想・鑑賞 作品制作計画・制作	4 【第2週】	第7回 第8回	③ (9/1) ④ (9/8) ⑤ (9/15)	3	次年度の作品の構想			
評価の観点	①【知識・技能】 ⇒ 課題作品、レポート など ②【思考・判断・表現】 ⇒ 課題作品、レポート、面接指導など ③【主体的に学習に取り組む態度】 ⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、課題作成)、授業出席回数など								
評価の方法	・年間6回のレポート、課題作品、作品完成に至るまでの制作課程、アイデアスケッチ、関心・意欲・態度など総合的に判断する。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
アプリケーション演習 B(検定ゼミ)	学校設定	2	3	2	3	4			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス文書の役割を理解し、作成する技術を身に付ける。 ・画像や図形を用いた表現力に富んだ文書を作成し、自ら、より印象的な表現方法を身に付ける。 ・表計算ソフトウェアの発展的な内容(データベース、応用的な関数)について学習し、情報データの効率的な活用ができる技術を習得する。 								
履修順序	・1年次「社会と情報」で情報処理の基礎を学び、2年次「情報処理」の学習を行ない、その応用として、3年次に履修する。								
教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・情報処理(実教出版 商業342) ・日本語ワープロ検定3・4級(日本情報処理検定協会) 								
メディア活用	・NHK 高校講座(社会と情報)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (枚切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (枚切)
4	第4章 ビジネス文書の作成 1節 ビジネス文書の表現 1 ビジネス文書の役割 a 情報と通信 b 通信文書と帳票 c 社外文書と社内文書 2 ビジネス文書の構成				10	第3章 ビジネス情報の 処理と分析 4節 情報の整列・検索 抽出 1 データの整列 2 データの検索・抽出			第17回 第18回 ③ (10/31)
5	3 正確な文書の要件 a 5W1H b 漢字 c 数字の使い分け d 誤りやすい用語 f 敬語		第9回 第10回	① (5/12)	11	2節 関数を利用した 表の作成 2 よく使う関数 a 順位づけ b 日付と時刻	3 【第2週】		
6	2節 図形と画像の活用 1 図形や画像の役割 a 図形や画像の特徴 b 画像処理ソフトウェア			② (6/16)	12	c 表の検索 d データベース関数	4 【第3週】	第20回	④ (12/8)
7	2 画像の活用 a 画像の取り込み b 画像の編集	1 【第2週】	第16回		1	e 文字列の検索			
8	副教材を使用した実技演習				2	1年間のまとめ			
9	4節 応用文書の作成 3 表現力に富んだ 報告書の作成	2 【第2週】			3	1年間のまとめ			
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の定期試験と実技試験(課題)に、年間4枚のレポート評価(3段階)授業態度、理解度、意欲・関心、課題提出などを総合して評価する。 ・筆記試験は1学期末と学年末に、2学期末は実技試験を実施する。なお、試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価はA、B、Cの3段階とし、Cは再提出となる。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
アプリケーション演習 A	学校設定	2	2	2	3	4			
ねらい 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・情報活用の実践力を養う。 ・演習を通して、具体的なソフトウェアの使い方を習得する。 ・情報機器やソフトウェアを活用して、情報を収集、処理、表現ができるようにする 								
履修順序	・1年次「情報Ⅰ」で情報の基礎を学び、その応用として2年次に履修する。								
教科書 副教材	・新編 情報Ⅰ(東京書籍 情Ⅰ701)								
メディア活用	・NHK 高校講座(社会と情報)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (枚切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (枚切)
4	1 学習ガイダンス ・各ソフトウェアについての説明 ・ワープロ検定、情報検定についてのガイダンス				10	6 表計算ソフトウェアの基本的な使い方(1)		第11回	③ (10/31)
5	2 文書処理ソフトウェアの基本的な使い方と文字の入力	1 【第3週】	第1回 第2回	① (5/31)	11	表計算ソフトウェアの基本的な使い方(2)	3 【第2週】		
6	3 文章の入力と文節変換				12	7 プレゼンテーションソフトウェアの基本的な使い方 8 スライド作成とアニメーションの使い方			
7	4 基本的な文書の構成と作成		第3回 第4回	② (7/14)	1	9 スライド作成の練習		第14回	④ (1/19)
8	検定課題に挑戦				2	10 自由課題(作成)	4 【第2週】		
9	5 速く正確な入力とビジネス文書作成の練習	2 【第2週】			3	11 自由課題(発表)			
評価の観点	・レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数、授業態度で評価を行う。								
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の定期試験と実技試験に、年間4枚のレポート評価(3段階)、授業態度理解度、意欲・関心、出席、課題提出などを総合して評価する。 ・試験は各学期に実施する。なお、試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
アニメーション・イラスト	学校設定	2	2	4	1	6			
ねらい 特色	・夏休み期間中の3日間を利用して専門学校を訪問し、専門学校の講師の講義を受けて、自分で手描きしたイラストをコンピュータを利用し、デジタル作品にするために必要な基礎的な知識と技術を学習し、1つの作品を完成させる。								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	・特になし								
メディア活用	・特になし								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (× 切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (× 切)
4					10				
5					11				
6					12				
7	<オリエンテーション> 「マンガとアニメーション」	1 【第4週】		① (8/2)	1				
8	コンピュータでのデザイン作成	2~4 【第3週】 【第4週】		②~⑥ (9/2)	2				
9					3				
評価の観点	①【知識・技能】⇒ 課題作品、レポート など ②【思考・判断・表現】⇒ 課題作品、レポート、面接指導など ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、課題作成)など								
評価の方法	・課題成績、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数・授業態度で評価を行う。 ・試験は実技の課題をもって評価する。なお、試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
社会福祉基礎講座	学校設定	2	3	2	3	6			
ねらい 特色	・社会福祉に関する基礎的な知識と技術を習得し、社会構造の変容やライフスタイルの変化が社会福祉の進展にどのような影響を及ぼしているか考える力を身に付ける。現代社会における社会福祉の意義や役割などについて理解し、社会福祉の基本的な見方や考える力を身に付ける								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	・社会福祉基礎(実教出版)								
メディア活用	NHK 高校講座(公共)								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (枚切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (枚切)
4	オリエンテーション 第1編 社会福祉の理念と 意義 第1章 生活と福祉				10	第3編 生活を支える社会 福祉・社会保障制度 第2章 子ども家庭福祉			④ (10/27)
5	第1章 生活と福祉			① (5/12)	11	第4章 高齢者福祉	2 【第2週】		
6	第2章 社会福祉の理念 第3章 人間の尊厳と福祉 社会の創造	1 【第2週】	第11回 第12回 第13回	② (6/9)	12	第4章 高齢者福祉 第5編 地域福祉の進展と 多様な社会的支援制度 第1章 地域福祉の進展と 地域の将来			⑤ (12/15)
7	第2編 社会福祉の歴史と 社会福祉の課題 第1章 諸外国における社 会福祉				1	第1章 地域福祉の進展と 地域の将来			⑥ (1/12)
8	夏季課題				2	第1章 地域福祉の進展と 地域の将来			
9	第1章 諸外国における社 会福祉			③ (9/22)	3	一年間のまとめ			
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験成績、レポート等の提出物、学習達成状況、出席時間数・授業態度で評価を行う。 ・試験は1学期期末試験、2学期期末試験および単位認定試験を実施、試験の合格点は30点以上。 ・レポートの評価はA、B、Cの三段階とし、Cは再提出となる。 ・教科に関する活動における顕著な成果、検定合格等を増単位として認める場合がある。 								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
総合的な探究の時間-1	必修	2	1	2	-	2			
ねらい 特色	<p>・横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。</p> <p>・本校では1年生は「自己理解」をテーマとし、様々な活動に取り組む。</p>								
履修順序	・特になし								
教科書 副教材	・特になし								
メディア活用	・特になし								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)
4	ガイダンス	1 【第4週】			10	ガイダンス ・進路に関する体験 ・職業に関する体験 ・自然体験学習等	2 【第1週】		
5	・進路に関する体験 ・職業に関する体験 ・自然体験学習等				11				
6					12				
7					1	まとめ			② (1/31)
8					2	学習発表会準備			
9	まとめ			① (9/28)	3	学習発表会			
評価の観点	<p>①【知識・技能】⇒ レポート、討論・発表 など</p> <p>②【思考・判断・表現】⇒ レポート、面接指導(面接指導への取り組み) など</p> <p>③【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、課題作成)など</p>								
評価の方法	・活動時間数、レポート、活動の成果が十分に満足できる場合、単位を認定する。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
総合的な探究の時間-2	必修	2	2	2	-	2			
ねらい 特色	<p>・横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。</p> <p>・本校では2年生は「職業理解・将来展望」をテーマとし、様々な活動に取り組む。</p>								
履修順序	・特になし。								
教科書 副教材	・特になし。								
メディア活用	・特になし。								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)
4	ガイダンス	1 【第4週】			10	ガイダンス ・進路に関する体験 ・職業に関する体験 ・自然体験学習等	2 【第1週】		
5	・進路に関する体験 ・職業に関する体験 ・自然体験学習等				11				
6					12				
7					1		まとめ		
8					2	学習発表会準備			
9	まとめ			① (9/28)	3	学習発表会			
評価の観点	①【知識・技能】⇒ レポート、討論・発表 など ②【思考・判断・表現】⇒ レポート、面接指導(面接指導への取り組み) など ③【主体的に学習に取り組む態度】⇒ 面接指導(面接指導への取り組み、課題作成)など								
評価の方法	・活動時間数、レポート、活動の成果が十分に満足できる場合、単位を認定する。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				面接	試験	添削			
総合的な探究の時間-3	必修	2	1	2	-	2			
ねらい 特色	<p>・横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。</p> <p>・本校では3年生は「異文化理解・進路実現」をテーマとし、様々な活動に取り組む。</p>								
履修順序	・特になし。								
教科書 副教材	・特になし。								
メディア活用	・特になし。								
学習計画									
月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)	月	単元	面接 指導	メディア	レポート (×切)
4	ガイダンス	1 【第4週】			10	ガイダンス ・進路に関する体験 ・職業に関する体験 ・自然体験学習等	2 【第1週】		
5					11				
6	・進路に関する体験 ・職業に関する体験 ・自然体験学習等				12				
7					1		まとめ		
8					2				
9	まとめ			① (9/28)	3				
評価の方法		・活動時間数、レポート、活動の成果が十分に満足できる場合、単位を認定する。							

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				行事	生徒会	HR			
特別活動(1年次)	卒業までに30時間以上	-	1	25	14	8			
ねらい 特色	行事: 集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養う。 生徒会: 生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図る HR活動: 学校生活をよりよくするため話し合いや合意形成、役割分担を協力して実践する。								
学習計画									
月	単元	行事	生徒会	HR	月	単元	行事	生徒会	HR
4	入学式、対面式グループ エンカウンター① グループ エンカウンター② 健康診断 交通安全講習会 生徒会委員会	5	1	2	10	文化祭 生徒会委員会	3	2	
5	情報モラル講習 生徒会委員会	1	1		11	アサーション トレーニング② 生徒会委員会		1	1
6	アサーション トレーニング① 生徒会委員会		1	1	12	生徒会委員会 薬物乱用防止講習 大掃除 2学期終業式	3	1	1
7	生徒会委員会 性に関する講習 大掃除 1学期終業式 部活動合同合宿	4	1	1	1	3学期始業式 生徒会委員会	1	1	
8					2	卒業式準備 生徒会委員会 グループ エンカウンター① 3年生を送る会	2	1	1
9	2学期始業式 生徒会委員会 避難訓練 生徒会選挙	3	3	1	3	卒業式 修了式	3	1	
評価の観点	・レポートや試験はなし。 ・「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」から評価する。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数					
				行事	生徒会	HR			
特別活動(2年次)	卒業までに 30 時間以上	-	2	26	12	6			
ねらい 特色	行 事: 集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養う。 生徒会: 生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図る HR 活動: 学校生活をよりよくするため話し合いや合意形成、役割分担を協力して実践する。								
学習計画									
月	単元	行事	生徒会	HR	月	単元	行事	生徒会	HR
4	始業式 入学式、対面式 アサーション トレーニング① 健康診断 交通安全講習会 生徒会委員会	4	1	1	10	文化祭 生徒会委員会	3	1	2
5	情報モラル講習 生徒会委員会	1	1		11	アサーション トレーニング② 生徒会委員会		1	1
6	性に関する講習 生徒会委員会	1	1		12	生徒会委員会 薬物乱用防止講習 大掃除 2 学期終業式	3	1	
7	大掃除 生徒会委員会 1 学期終業式 部活動合同合宿	3	1		1	3 学期始業式 生徒会委員会	2	1	
8					2	卒業式準備 生徒会委員会 グループ エンカウンター① 3 年生を送る会	4	1	2
9	2 学期始業式 生徒会委員会 避難訓練 生徒会選挙	3	3		3	卒業式 修了式	2		
評価の観点	・レポートや試験はなし。 ・「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」から評価する。								

科目名	履修区分	単位数	対象学年	活動回数					
				行事	生徒会	HR			
特別活動(3年次)	卒業までに30時間以上	-	3	25	12	5			
ねらい 特色	行事: 集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養う。 生徒会: 生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図る HR活動: 学校生活をよりよくするため話し合いや合意形成、役割分担を協力して実践する。								
活動計画									
月	単元	行事	生徒会	HR	月	単元	行事	生徒会	HR
4	入学式、対面式 グループ エンカウンター① 健康診断 生徒会委員会	4	1	1	10	文化祭 生徒会委員会	3	1	1
5	情報モラル講習 生徒会委員会	1	1		11	生徒会委員会		1	
6	生徒会委員会 グループ エンカウンター②	1	1	1	12	生徒会委員会 薬物乱用防止講習 大掃除 2学期終業式	3	1	
7	生徒会委員会 性に関する講習 大掃除 1学期終業式 部活動合同合宿	4	1	1	1	3学期始業式 生徒会委員会	1	1	
8					2	グループ エンカウンター③ 卒業式準備 生徒会委員会 3年生を送る会	3	1	1
9	2学期始業式 生徒会委員会 避難訓練 生徒会選挙	2	3		3	卒業式	3		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートや試験はなし。 ・「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」から評価する。 								